

V 履修上の注意点と科目

履修上の注意点

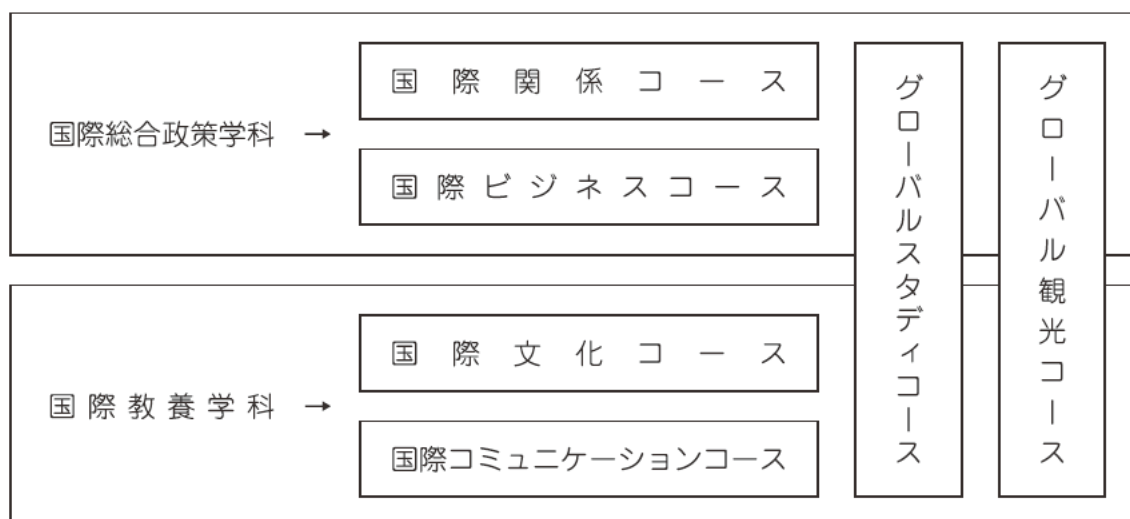
- ① すでに修得した科目を再び履修することはできません。
- ② 上位学年に設置された科目は、その学年になるまで履修することはできません。
- ③ 開講科目の中には、履修できる学生を学科・コース・クラスで指定する科目や履修するための条件が付されている科目があるので、本履修要覧、シラバス、時間割表及び掲示等をよく確認すること。
- ④ 開講科目によっては、教室収容人数の事情やコース選択の学生を優先するために、履修者数の制限を行う場合がある。また、開講科目の履修者が極端に少ない場合には、開講しない場合がある。

所属学科とコースの選択

本学部では、人材育成の目的を全うし、学科の教育目標に沿うような科目配置の調整並びに学科内のコース制をカリキュラム上導入しています。このため、全学生は2年次以降に自分の所属学科に設置されたコースを必ず1つ選択し、そのコースの履修条件に従い履修することが必要になります。

国際総合政策学科の学生は、国際関係コース、国際ビジネスコース、グローバルスタディコース、グローバル観光コースの4コース、国際教養学科の学生は、国際文化コース、国際コミュニケーションコース、グローバルスタディコース、グローバル観光コースの4コースが設置されています。なお、グローバルスタディコース、グローバル観光コースは両学科共通のコースです。

コースの選択については、1年次後期終了時に決めることになります。詳細は、別途掲示等で周知します。なお、コース選択後にコースを変更することはできません。



授業科目配置表（全学科共通）

科目区分	履修区分/条件	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目	必修	自主創造の基礎1 (2) 自主創造の基礎2 (2)			
総合教育科目	選択	※20単位以上修得 哲学(2) 倫理学(2) 歴史学(2) 文化人類学(2) 心理学(2) 芸術(2)	世界の宗教(2) 世界の言語(2) 文学(2) 社会学(2) 法学(2) 日本国憲法(2)	政治学(2) 経済学(2) 商学(2) 経営学(2) ジェンダーと社会(2) 数理の世界(2)	生命の科学(2) 情報論(2) 調査統計論(2) 科学思想史(2)
外国語科目	選択必修	※いずれか1つの外国語を選択し8単位以上修得 英語Ⅰ(2) 英語Ⅱ(2) 英語Ⅲ(2) 英語Ⅳ(2) ドイツ語Ⅰ(2) ドイツ語Ⅱ(2) ドイツ語Ⅲ(2) ドイツ語Ⅳ(2)	フランス語Ⅰ(2) フランス語Ⅱ(2) 中国語Ⅰ(2) 中国語Ⅱ(2)	フランス語Ⅲ(2) フランス語Ⅳ(2) 韓国語Ⅰ(2) 韓国語Ⅱ(2) 韓国語Ⅲ(2) 韓国語Ⅳ(2)	スペイン語Ⅰ(2) スペイン語Ⅱ(2) スペイン語Ⅲ(2) スペイン語Ⅳ(2) 日本語Ⅰ(2) 日本語Ⅱ(2) 日本語Ⅲ(2) 日本語Ⅳ(2) (外国人留学生のみ)
健康スポーツ科目	選択	スポーツ科学と健康(2) スポーツ総合(1)			
専門基礎科目	必修	国際関係論入門(2) 国際文化論入門(2) 日本近現代史(2) 世界近現代史(2)			
専門教育科目	コース	選択	ビジネス英語Ⅰ (注)	2年次以降の専門教育科目については、次ページ以降の授業科目配置表で確認してください。	
	研究領域	選択	※6単位以上修得 国際交流(外国語実習)(2) ティーチング・インターンシップ(2)		
	情報	選択	情報処理Ⅰ(1) 情報処理Ⅱ(1)		
	外観 外国語光	選択	観光英語Ⅰ(1)		
	外専 外国語門	選択	複言語Ⅰ(1) 複言語Ⅱ(1) 特定言語初級(2)		
学部共通科目	スポーツ交流	選択		スポーツ科学(2) スポーツと社会(2) スポーツ指導論(2) レクリエーション論(2)	
	資格外国語	選択	資格英語Ⅰ(1) 資格英語Ⅱ(1)	資格英語Ⅲ(1) 資格英語Ⅳ(1) 資格フランス語Ⅰ(1) 資格フランス語Ⅱ(1) 資格スペイン語Ⅰ(1) 資格スペイン語Ⅱ(1) 資格ドイツ語Ⅰ(1) 資格ドイツ語Ⅱ(1) 資格中国語Ⅰ(1) 資格中国語Ⅱ(1) 資格韓国語Ⅰ(1) 資格韓国語Ⅱ(1)	
	特別教育	選択	学際研究Ⅰ(2)	学際研究Ⅱ(2)	特殊講義Ⅰ(2)

()内の数字は単位数です

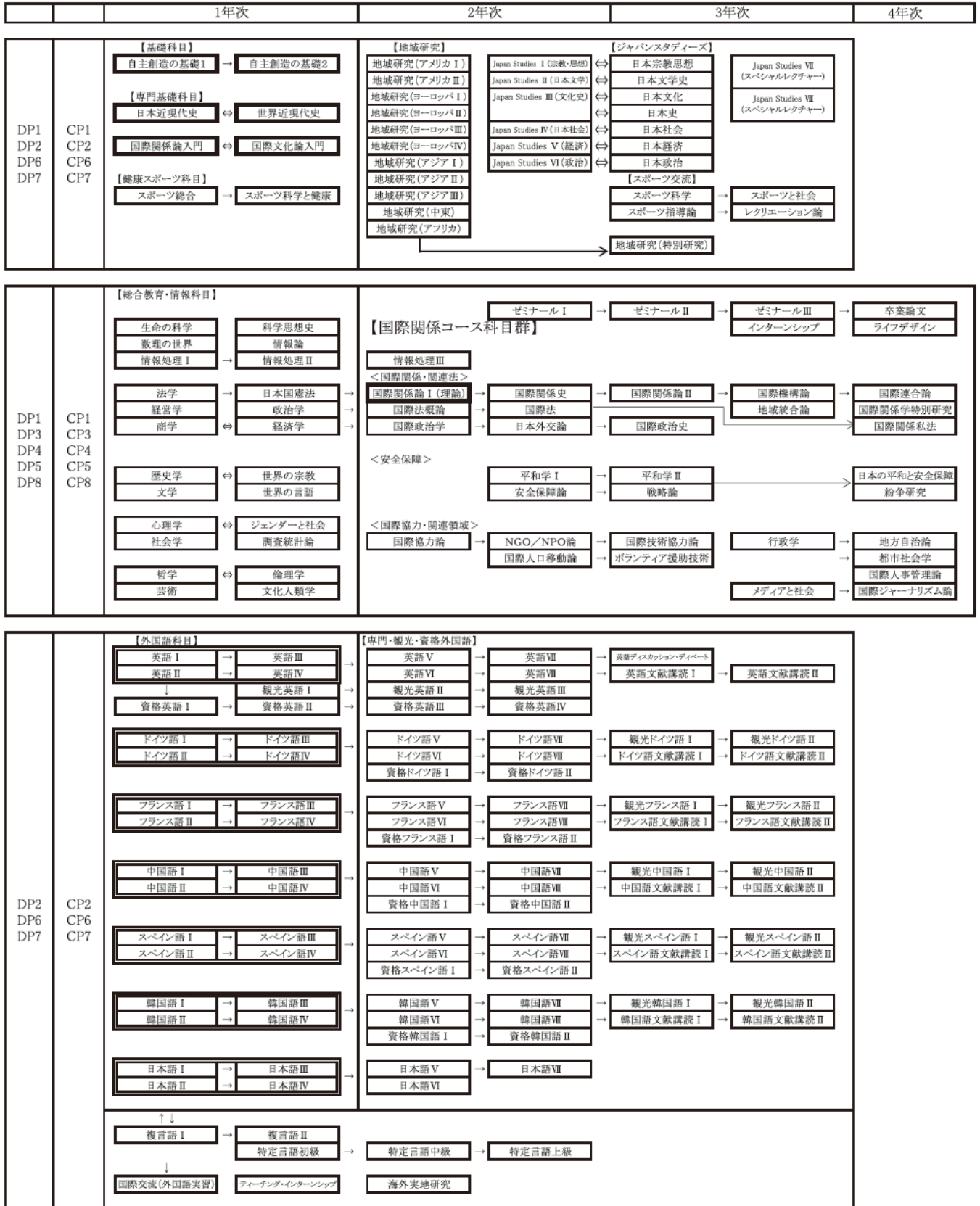
※ビジネス英語Ⅰは国際コミュニケーションコースのコース専門科目です。修得した単位は、国際総合政策学科生は他学科専門教育科目に分類され、国際教養学科生のうち、2年次に国際文化コース、グローバル観光コース、グローバルスタディコースのいずれかを選択した学生は自学科専門教育科目に分類され、2年次に国際コミュニケーションコースを選択した学生はコース専門科目に分類されます。

授業科目配置表 国際総合政策学科（国際関係コース）

科目区分	履修区分/条件	1年次	2年次	3年次	4年次		
※専門教育科目のうち、必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 ※コース専門基礎科目並びにコース専門科目は、44単位以上を修得しなければならない							
コース専門基礎	必修		国際関係論Ⅰ(理論)(2)				
	選択	※必修含めて4単位以上修得	国際法概論(2) 国際政治学(2) 国際協力論(2)				
	A	※16単位以上修得	国際法(4) 国際関係史(4) 日本外交論(4)	国際関係論Ⅱ(4) 国際機構論(4) 国際政治史(4) 地域統合論(4)	国際連合論(4) 国際ジャーナリズム論(4) 国際関係私法(4) 国際関係学特別研究(4)		
	B	※8単位以上修得	平和学Ⅰ(4) 安全保障論(4)	戦略論(4) 平和学Ⅱ(4)	紛争研究(4) 日本の平和と安全保障(4)		
	C	※4単位以上修得	NGO/NPO論(4)	国際技術協力論(4) ボランティア援助技術(4) 行政学(4)	地方自治論(4) 国際人事管理論(4)		
	D	※4単位以上修得	国際人口移動論(4)	メディアと社会(4)	都市社会学(4)		
	コース専門科目	地域研究	※6単位以上修得	国際交流(外国語実習)(2) ティーチング・インターンシップ(2)	地域研究(アメリカⅠ)(2) 地域研究(アメリカⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅠ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅢ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅣ)(2) 地域研究(アジアⅠ)(2) 地域研究(アジアⅡ)(2) 地域研究(アジアⅢ)(2) 地域研究(中東)(2) 海外実地研究(1) 地域研究(アフリカ)(2)	地域研究(特別研究)(2)	
			必修				ライフデザイン(1)
			選択		ゼミナールⅠ(1)	ゼミナールⅡ(1) ゼミナールⅢ(1) インターンシップ(2)	卒業論文(4)
			情報	選択	情報処理Ⅰ(1) 情報処理Ⅱ(1)	情報処理Ⅲ(1)	
選択				観光英語Ⅰ(1)	観光英語Ⅱ(1) 観光英語Ⅲ(1)	観光ドイツ語Ⅰ(1) 観光ドイツ語Ⅱ(1) 観光フランス語Ⅰ(1) 観光フランス語Ⅱ(1) 観光中国語Ⅰ(1) 観光中国語Ⅱ(1) 観光スペイン語Ⅰ(1) 観光スペイン語Ⅱ(1) 観光韓国語Ⅰ(1) 観光韓国語Ⅱ(1)	
観光外国語			選択				
			選択		Japan StudiesⅠ(宗教・思想)(2) Japan StudiesⅡ(日本文学)(2) Japan StudiesⅢ(文化史)(2) Japan StudiesⅣ(日本社会)(2) Japan StudiesⅤ(経済)(2) Japan StudiesⅥ(政治)(2)	日本宗教思想(2) 日本文化(2) 日本文学史(2) 日本史(2) 日本社会(2) 日本経済(2) 日本政治(2) Japan StudiesⅦ (スペシャルレクチャー)(2) Japan StudiesⅧ (スペシャルレクチャー)(2)	
ジャパニスタディーズ		選択					
		選択	複言語Ⅰ(1) 複言語Ⅱ(1) 特定言語初級(2)	英語Ⅴ(1) ドイツ語Ⅴ(1) 英語Ⅵ(1) ドイツ語Ⅵ(1) 英語Ⅶ(1) ドイツ語Ⅶ(1) 英語Ⅷ(1) ドイツ語Ⅷ(1) フランス語Ⅴ(1) 中国語Ⅴ(1) フランス語Ⅵ(1) 中国語Ⅵ(1) フランス語Ⅶ(1) 中国語Ⅶ(1) フランス語Ⅷ(1) 中国語Ⅷ(1) スペイン語Ⅴ(1) 韓国語Ⅴ(1) スペイン語Ⅵ(1) 韓国語Ⅵ(1) スペイン語Ⅶ(1) 韓国語Ⅶ(1) スペイン語Ⅷ(1) 韓国語Ⅷ(1) 日本語Ⅴ(2) 特定言語中級(2) 日本語Ⅵ(2) 特定言語上級(2) 日本語Ⅶ(2)	英語ディスカッション・ディベート(1) 英語文獻講読Ⅰ(1) 英語文獻講読Ⅱ(1) ドイツ語文獻講読Ⅰ(1) ドイツ語文獻講読Ⅱ(1) フランス語文獻講読Ⅰ(1) フランス語文獻講読Ⅱ(1) 中国語文獻講読Ⅰ(1) 中国語文獻講読Ⅱ(1) スペイン語文獻講読Ⅰ(1) スペイン語文獻講読Ⅱ(1) 韓国語文獻講読Ⅰ(1) 韓国語文獻講読Ⅱ(1)		
専門外国語		選択					
	選択						

※自学科他コース専門科目を履修した場合には、専門教育科目として算入されます。

履修系統図 国際総合政策学科(国際関係コース)

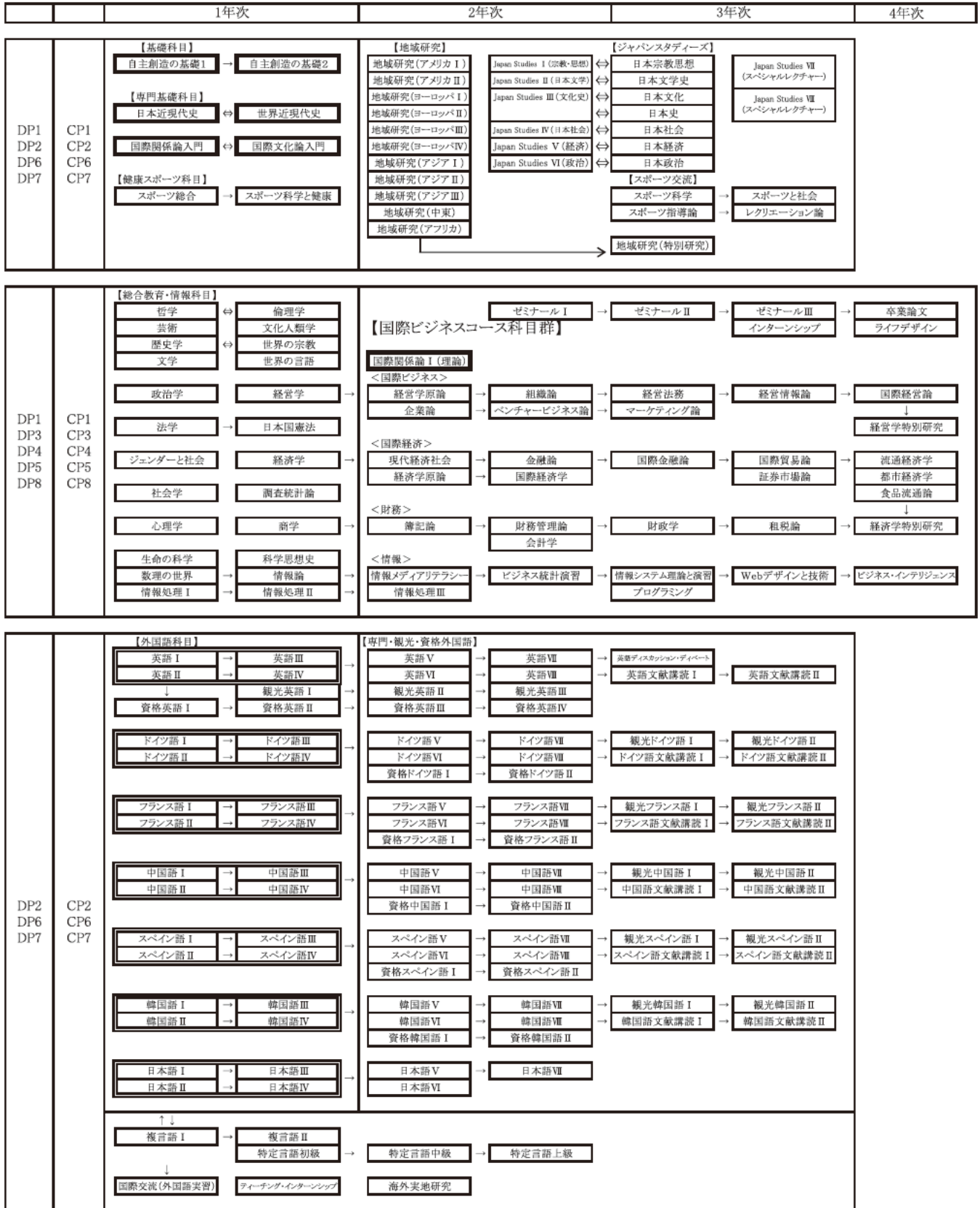


※ディプロマ・ポリシー(DP)及びカリキュラム・ポリシー(CP)の内容は、【教育方針】を参照してください。

授業科目配置表 国際総合政策学科（国際ビジネスコース）

科目区分	履修区分/条件	1年次	2年次	3年次	4年次	
※専門教育科目のうち、必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 ※コース専門基礎科目並びにコース専門科目は、44単位以上を修得しなければならない						
専門教育科目	コース専門基礎	必修		国際関係論Ⅰ(理論)(2)		
		選択	※必修含めて4単位以上修得	国際経済学(2) 財務管理論(2) 組織論(2)		
	コース専門科目	A	※16単位以上修得	簿記論(4) 会計学(4) 経済学原論(4) 経営学原論(4) 金融論(4)	経営法務(4) マーケティング論(4) 国際金融論(4)	
		B	※12単位以上修得	現代経済社会(4) 企業論(4) ベンチャービジネス論(4)	財政学(4) 証券市場論(4) 租税論(4) 国際貿易論(4)	経済学特別研究(4) 流通経済学(4) 経営学特別研究(4) 都市経済学(4) ビジネス・インテリジェンス(4) 食品流通論(4)
		C	※4単位以上修得	情報メディアリテラシー(4) ビジネス統計演習(1)	情報システム理論と演習(3) Webデザインと技術(3) プログラミング(1) 経営情報論(4)	国際経営論(2)
	地域研究	※6単位以上修得	国際交流(外国語実習)(2) ティーチング・インターンシップ(2)	地域研究(アメリカⅠ)(2) 地域研究(アメリカⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅠ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅢ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅣ)(2) 地域研究(アジアⅠ)(2) 地域研究(アジアⅡ)(2) 地域研究(アジアⅢ)(2) 地域研究(中東)(2) 海外実地研究(1) 地域研究(アフリカ)(2)	地域研究(特別研究)(2)	
	演習	必修				ライフデザイン(1)
	選択		ゼミナールⅠ(1)	ゼミナールⅡ(1) ゼミナールⅡⅠ(1) インターンシップ(2)	卒業論文(4)	
	情報	選択	情報処理Ⅰ(1) 情報処理Ⅱ(1)	情報処理Ⅱ(1)		
	観光外国語	選択	観光英語Ⅰ(1)	観光英語Ⅱ(1) 観光英語Ⅲ(1)	観光ドイツ語Ⅰ(1) 観光ドイツ語Ⅱ(1) 観光フランス語Ⅰ(1) 観光フランス語Ⅱ(1) 観光中国語Ⅰ(1) 観光中国語Ⅱ(1) 観光スペイン語Ⅰ(1) 観光スペイン語Ⅱ(1) 観光韓国語Ⅰ(1) 観光韓国語Ⅱ(1)	
ジャパンスタディーズ	選択		Japan StudiesⅠ(宗教・思想)(2) Japan StudiesⅡ(日本文学)(2) Japan StudiesⅢ(文化史)(2) Japan StudiesⅣ(日本社会)(2) Japan StudiesⅤ(経済)(2) Japan StudiesⅥ(政治)(2)	日本宗教思想(2) 日本文化(2) 日本文学史(2) 日本史(2) 日本社会(2) 日本経済(2) 日本政治(2) Japan StudiesⅥ (スペシャルレクチャー)(2) Japan StudiesⅦ (スペシャルレクチャー)(2)		
専門外国語	選択	複言語Ⅰ(1) 複言語Ⅱ(1) 特定言語初級(2)	英語Ⅴ(1) ドイツ語Ⅴ(1) 英語Ⅵ(1) ドイツ語Ⅵ(1) 英語Ⅶ(1) ドイツ語Ⅶ(1) 英語Ⅷ(1) ドイツ語Ⅷ(1) フランス語Ⅴ(1) 中国語Ⅴ(1) フランス語Ⅵ(1) 中国語Ⅵ(1) フランス語Ⅶ(1) 中国語Ⅶ(1) フランス語Ⅷ(1) 中国語Ⅷ(1) スペイン語Ⅴ(1) 韓国語Ⅴ(1) スペイン語Ⅵ(1) 韓国語Ⅵ(1) スペイン語Ⅶ(1) 韓国語Ⅶ(1) スペイン語Ⅷ(1) 韓国語Ⅷ(1) 日本語Ⅴ(2) 特定言語中級(2) 日本語Ⅵ(2) 特定言語上級(2) 日本語Ⅶ(2)	英語ディスカッション・ディベート(1) 英語文献講読Ⅰ(1) 英語文献講読Ⅱ(1) ドイツ語文献講読Ⅰ(1) ドイツ語文献講読Ⅱ(1) フランス語文献講読Ⅰ(1) フランス語文献講読Ⅱ(1) 中国語文献講読Ⅰ(1) 中国語文献講読Ⅱ(1) スペイン語文献講読Ⅰ(1) スペイン語文献講読Ⅱ(1) 韓国語文献講読Ⅰ(1) 韓国語文献講読Ⅱ(1)		
※自学科他コース専門科目を履修した場合には、専門教育科目として算入されます。						

履修系統図 国際総合政策学科(国際ビジネスコース)

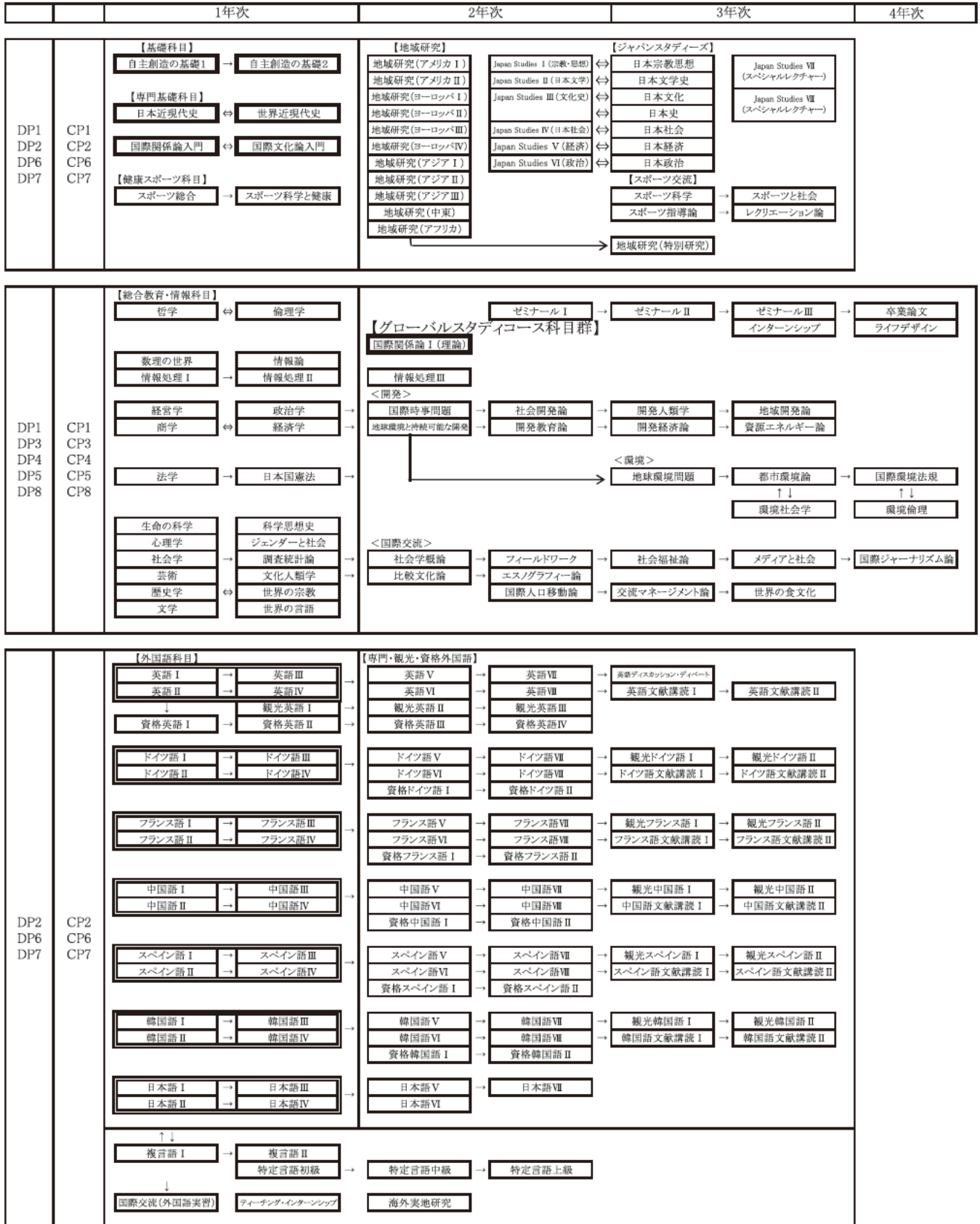


※ディプロマ・ポリシー(DP)及びカリキュラム・ポリシー(CP)の内容は、【教育方針】を参照してください。

授業科目配置表 国際総合政策学科（グローバルスタディコース）

科目区分	履修区分/条件	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
※ 専門教育科目のうち、必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 ※ コース専門基礎科目並びにコース専門科目は、44単位以上を修得しなければならない						
専門教育科目 全コース共通専門科目	必修		国際関係論Ⅰ(理論)(2)			
	選択	※必修含めて4単位以上修得	地球環境と持続可能な開発(2) 国際時事問題(2) 社会学概論(2) 比較文化論(2)			
	A	※12単位以上修得	開発教育論(4) 社会開発論(4)	開発経済論(4) 地域開発論(4) 開発人類学(4) 資源エネルギー論(4) 交流マネジメント論(4)		
	B	※8単位以上修得		地球環境問題(4) 環境社会学(4) 都市環境論(4)	環境倫理(4) 国際環境法規(4)	
	C	※8単位以上修得	国際人口移動論(4) フィールドワーク(4) エスノグラフィー論(4)	社会福祉論(4) 世界の食文化(4) メディアと社会(4)	国際ジャーナリズム論(4)	
	地域研究	※6単位以上修得	国際交流(外国語実習)(2) ティーチング・インターンシップ(2)	地域研究(アメリカⅠ)(2) 地域研究(アメリカⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅠ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅢ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅣ)(2) 地域研究(アジアⅠ)(2) 地域研究(アジアⅡ)(2) 地域研究(アジアⅢ)(2) 地域研究(中東)(2) 海外実地研究(1) 地域研究(アフリカ)(2)	地域研究(特別研究)(2)	
	演習	必修				ライフデザイン(1)
	選択			ゼミナールⅠ(1)	ゼミナールⅡ(1) ゼミナールⅢ(1) インターンシップ(2)	卒業論文(4)
	情報	選択	情報処理Ⅰ(1) 情報処理Ⅱ(1)	情報処理Ⅲ(1)		
	観光外国語	選択	観光英語Ⅰ(1)	観光英語Ⅱ(1) 観光英語Ⅲ(1)	観光ドイツ語Ⅰ(1) 観光ドイツ語Ⅱ(1) 観光フランス語Ⅰ(1) 観光フランス語Ⅱ(1) 観光中国語Ⅰ(1) 観光中国語Ⅱ(1) 観光スペイン語Ⅰ(1) 観光スペイン語Ⅱ(1) 観光韓国語Ⅰ(1) 観光韓国語Ⅱ(1)	
ジャパンスタディーズ	選択		Japan StudiesⅠ(宗教・思想)(2) Japan StudiesⅡ(日本文学)(2) Japan StudiesⅢ(文化史)(2) Japan StudiesⅣ(日本社会)(2) Japan StudiesⅤ(経済)(2) Japan StudiesⅥ(政治)(2)	日本宗教思想(2) 日本文化(2) 日本文学史(2) 日本史(2) 日本社会(2) 日本経済(2) 日本政治(2) Japan StudiesⅦ (スペシャルレクチャー)(2) Japan StudiesⅧ (スペシャルレクチャー)(2)		
専門外国語	選択	複言語Ⅰ(1) 複言語Ⅱ(1) 特定言語初級(2)	英語Ⅴ(1) ドイツ語Ⅴ(1) 英語Ⅵ(1) ドイツ語Ⅵ(1) 英語Ⅶ(1) ドイツ語Ⅶ(1) 英語Ⅷ(1) ドイツ語Ⅷ(1) フランス語Ⅴ(1) 中国語Ⅴ(1) フランス語Ⅵ(1) 中国語Ⅵ(1) フランス語Ⅶ(1) 中国語Ⅶ(1) フランス語Ⅷ(1) 中国語Ⅷ(1) スペイン語Ⅴ(1) 韓国語Ⅴ(1) スペイン語Ⅵ(1) 韓国語Ⅵ(1) スペイン語Ⅶ(1) 韓国語Ⅶ(1) スペイン語Ⅷ(1) 韓国語Ⅷ(1) 日本語Ⅴ(2) 特定言語中級(2) 日本語Ⅵ(2) 特定言語上級(2) 日本語Ⅶ(2)	英語ディスカッション・ディベート(1) 英語文献講読Ⅰ(1) 英語文献講読Ⅱ(1) ドイツ語文献講読Ⅰ(1) ドイツ語文献講読Ⅱ(1) フランス語文献講読Ⅰ(1) フランス語文献講読Ⅱ(1) 中国語文献講読Ⅰ(1) 中国語文献講読Ⅱ(1) スペイン語文献講読Ⅰ(1) スペイン語文献講読Ⅱ(1) 韓国語文献講読Ⅰ(1) 韓国語文献講読Ⅱ(1)		
※ 自学科他コース専門科目を履修した場合には、専門教育科目として算入されます。						

履修系統図 国際総合政策学科(グローバルスタディコース)

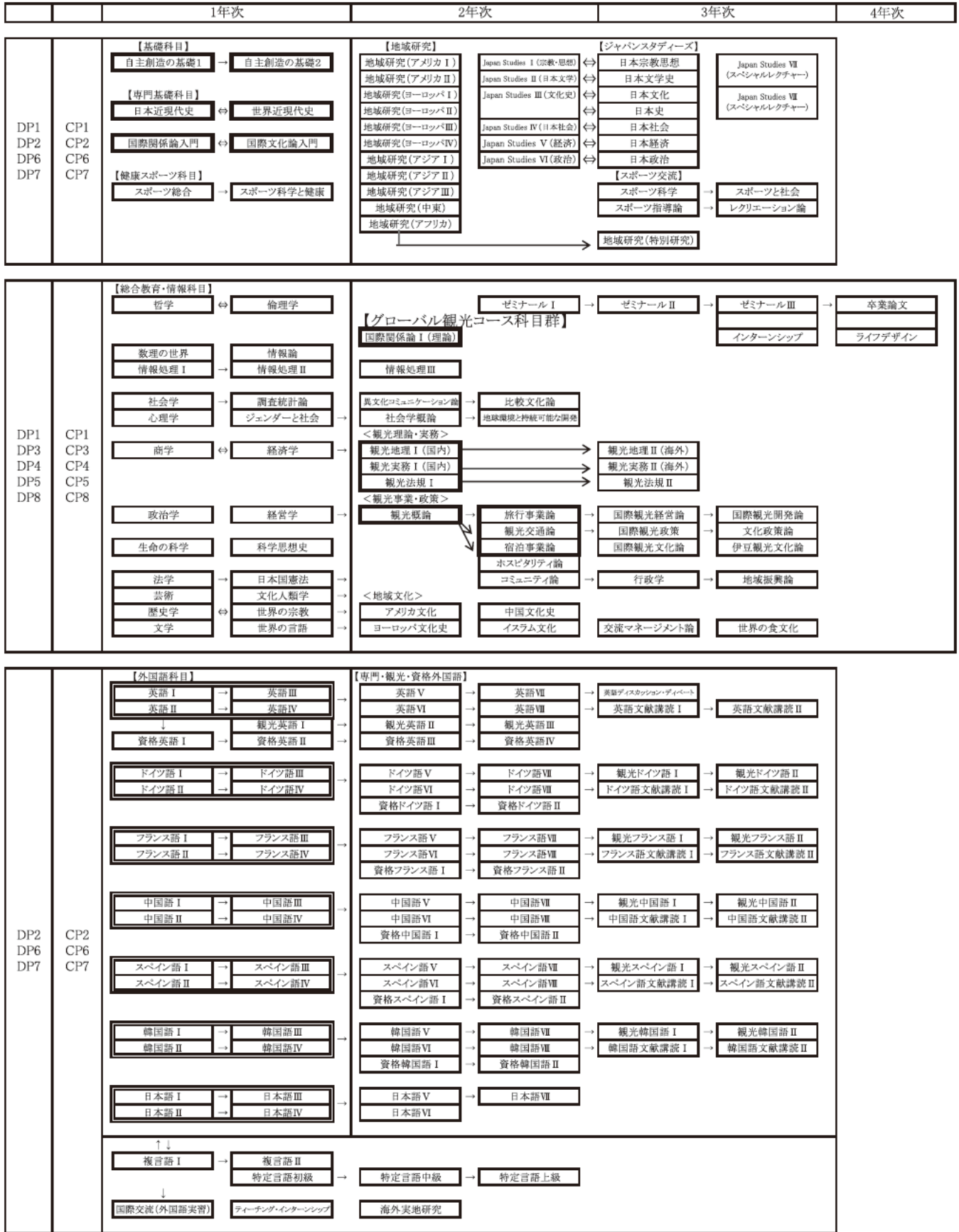


※ディプロマ・ポリシー(DP)及びカリキュラム・ポリシー(CP)の内容は、【教育方針】を参照してください。

授業科目配置表 国際総合政策学科（グローバル観光コース）

科目区分	履修区分/条件	1年次	2年次	3年次	4年次	
※専門教育科目のうち、必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 ※コース専門基礎科目並びにコース専門科目は、44単位以上を修得しなければならない						
専門教育科目 全コース共通専門科目	コース専門基礎	必修		国際関係論Ⅰ(理論)(2)		
		選択	※必修含めて4単位以上修得	地球環境と持続可能な開発(2) 異文化コミュニケーション論(2) 社会学概論(2) 比較文化論(2)		
	コース専門科目	A	※14単位以上修得	観光法規Ⅰ(2) 観光地理Ⅰ(国内)(2) 観光実務Ⅰ(国内)(2)	観光法規Ⅱ(2) 国際観光経営論(4) 観光地理Ⅱ(海外)(2) 国際観光開発論(4) 観光実務Ⅱ(海外)(2) 国際観光政策(4) 国際観光文化論(2)	
		B	※14単位以上修得	観光概論(2) 旅行事業論(2) コミュニティ論(4) 宿泊事業論(2) ホスピタリティ論(2) 観光交通論(2)	行法学(4) 伊豆観光文化論(2) 文化政策論(4) 世界の食文化(4) 地域振興論(4)	
		C	※4単位以上修得	アメリカ文化(4) イスラム文化(4) ヨーロッパ文化史(4) 中国文化史(4)	交流マネージメント論(4)	
	地域研究	※6単位以上修得	国際交流(外国語実習)(2) ティーチング・インターンシップ(2)	地域研究(アメリカⅠ)(2) 地域研究(アメリカⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅠ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅢ)(2) 地域研究(アジアⅠ)(2) 地域研究(アジアⅡ)(2) 地域研究(アジアⅢ)(2) 地域研究(中東)(2) 海外実地研究(1) 地域研究(アフリカ)(2)	地域研究(特別研究)(2)	
	演習	必修				ライフデザイン(1)
		選択		ゼミナールⅠ(1)	ゼミナールⅡ(1) ゼミナールⅢ(1) インターンシップ(2)	卒業論文(4)
	情報	選択	情報処理Ⅰ(1) 情報処理Ⅱ(1)	情報処理Ⅲ(1)		
	観光外国語	選択	観光英語Ⅰ(1)	観光英語Ⅱ(1) 観光英語Ⅲ(1)	観光ドイツ語Ⅰ(1) 観光ドイツ語Ⅱ(1) 観光フランス語Ⅰ(1) 観光フランス語Ⅱ(1) 観光中国語Ⅰ(1) 観光中国語Ⅱ(1) 観光スペイン語Ⅰ(1) 観光スペイン語Ⅱ(1) 観光韓国語Ⅰ(1) 観光韓国語Ⅱ(1)	
ジャパニスタディーズ	選択		Japan StudiesⅠ(宗教・思想)(2) Japan StudiesⅡ(日本文学)(2) Japan StudiesⅢ(文化史)(2) Japan StudiesⅣ(日本社会)(2) Japan StudiesⅤ(経済)(2) Japan StudiesⅥ(政治)(2)	日本宗教思想(2) 日本文化(2) 日本文学史(2) 日本史(2) 日本社会(2) 日本経済(2) 日本政治(2) Japan StudiesⅦ (スペシャルレクチャー)(2) Japan StudiesⅧ (スペシャルレクチャー)(2)		
専門外国語	選択	複言語Ⅰ(1) 複言語Ⅱ(1) 特定言語初級(2)	英語Ⅴ(1) ドイツ語Ⅴ(1) 英語Ⅵ(1) ドイツ語Ⅵ(1) 英語Ⅶ(1) ドイツ語Ⅶ(1) 英語Ⅷ(1) ドイツ語Ⅷ(1) フランス語Ⅴ(1) 中国語Ⅴ(1) フランス語Ⅵ(1) 中国語Ⅵ(1) フランス語Ⅶ(1) 中国語Ⅶ(1) フランス語Ⅷ(1) 中国語Ⅷ(1) スペイン語Ⅴ(1) 韓国語Ⅴ(1) スペイン語Ⅵ(1) 韓国語Ⅵ(1) スペイン語Ⅶ(1) 韓国語Ⅶ(1) スペイン語Ⅷ(1) 韓国語Ⅷ(1) 日本語Ⅴ(2) 特定言語中級(2) 日本語Ⅵ(2) 特定言語上級(2) 日本語Ⅶ(2)	英語ディスカッション・ディベート(1) 英語文献講読Ⅰ(1) 英語文献講読Ⅱ(1) ドイツ語文献講読Ⅰ(1) ドイツ語文献講読Ⅱ(1) フランス語文献講読Ⅰ(1) フランス語文献講読Ⅱ(1) 中国語文献講読Ⅰ(1) 中国語文献講読Ⅱ(1) スペイン語文献講読Ⅰ(1) スペイン語文献講読Ⅱ(1) 韓国語文献講読Ⅰ(1) 韓国語文献講読Ⅱ(1)		
※自学科他コース専門科目を履修した場合には、専門教育科目として算入されます。						

履修系統図 国際総合政策学科(グローバル観光コース)

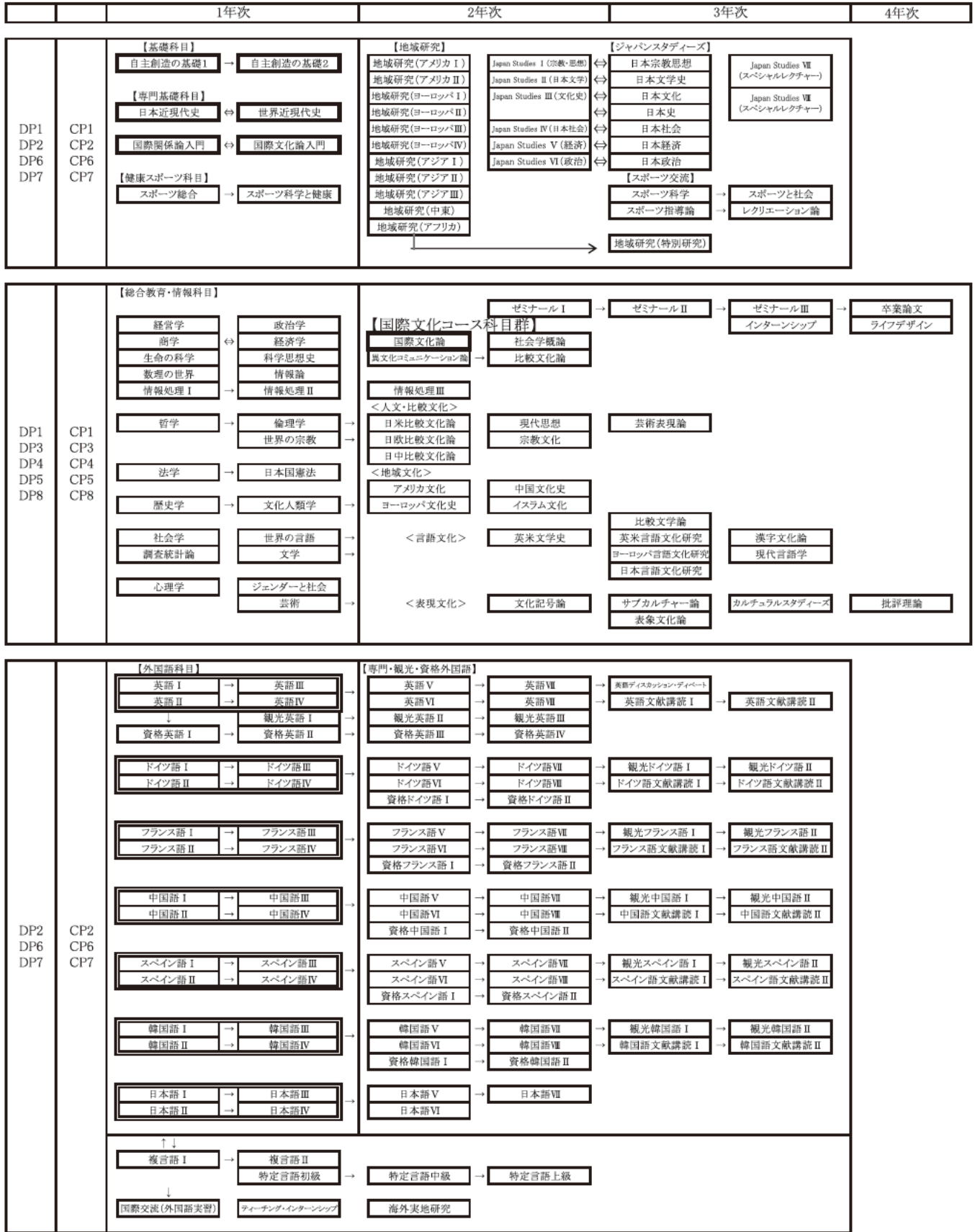


※ディプロマ・ポリシー(DP)及びカリキュラム・ポリシー(CP)の内容は、【教育方針】を参照してください。

授業科目配置表 国際教養学科 (国際文化コース)

科目区分	履修区分/条件	1年次	2年次	3年次	4年次	
※専門教育科目のうち、必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 ※コース専門基礎科目並びにコース専門科目は、44単位以上を修得しなければならない						
コース専門基礎 コース専門科目 専門教育科目 全コース共通専門科目	必修		国際文化論(2)			
	選択	※必修含めて4単位以上修得		比較文化論(2) 異文化コミュニケーション論(2) 社会学概論(2)		
	A	※4単位以上修得		日米比較文化論(4) 宗教文化(4) 日欧比較文化論(4) 現代思想(4) 日中比較文化論(4)	芸術表現論(4)	
	B	※4単位以上修得		アメリカ文化(4) 中国文化史(4) ヨーロッパ文化史(4) イスラム文化(4)		
	C	※4単位以上修得		英語文学論(2) 英語文学論演習(1)	比較文学論(4) 日本語文化研究(4) 現代言語学(4) 漢字文化論(4) 英米言語文化研究(4) ヨーロッパ言語文化研究(4)	
	D	※4単位以上修得		文化記号論(4)	サブカルチャー論(4) 表象文化論(4) カルチュラルスタディーズ(4)	批評理論(4)
	地域研究	※6単位以上修得	国際交流(外国語実習)(2) ティーチング・インターンシップ(2)	地域研究(アメリカⅠ)(2) 地域研究(アメリカⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅠ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅢ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅣ)(2) 地域研究(アジアⅠ)(2) 地域研究(アジアⅡ)(2) 地域研究(アジアⅢ)(2) 地域研究(中東)(2) 海外実地研究(1) 地域研究(アフリカ)(2)	地域研究(特別研究)(2)	
	演習	必修				ライフデザイン(1)
		選択		ゼミナールⅠ(1)	ゼミナールⅡ(1) ゼミナールⅢ(1) インターンシップ(2)	卒業論文(4)
	情報	選択	情報処理Ⅰ(1) 情報処理Ⅱ(1)	情報処理Ⅱ(1)		
	観光外国語	選択	観光英語Ⅰ(1)	観光英語Ⅱ(1) 観光英語Ⅲ(1)	観光ドイツ語Ⅰ(1) 観光ドイツ語Ⅱ(1) 観光フランス語Ⅰ(1) 観光フランス語Ⅱ(1) 観光中国語Ⅰ(1) 観光中国語Ⅱ(1) 観光スペイン語Ⅰ(1) 観光スペイン語Ⅱ(1) 観光韓国語Ⅰ(1) 観光韓国語Ⅱ(1)	
	ジャパニスタディーズ	選択		Japan Studies Ⅰ(宗教・思想)(2) Japan Studies Ⅱ(日本文学)(2) Japan Studies Ⅲ(文化史)(2) Japan Studies Ⅳ(日本社会)(2) Japan Studies Ⅴ(経済)(2) Japan Studies Ⅵ(政治)(2)	日本宗教思想(2) 日本文化(2) 日本文学史(2) 日本史(2) 日本社会(2) 日本経済(2) 日本政治(2) Japan Studies Ⅶ (スペシャルレクチャー)(2) Japan Studies Ⅷ (スペシャルレクチャー)(2)	
専門外国語	選択	複言語Ⅰ(1) 複言語Ⅱ(1) 特定言語初級(2)	英語Ⅴ(1) ドイツ語Ⅴ(1) 英語Ⅵ(1) ドイツ語Ⅵ(1) 英語Ⅶ(1) ドイツ語Ⅶ(1) 英語Ⅷ(1) ドイツ語Ⅷ(1) フランス語Ⅴ(1) 中国語Ⅴ(1) フランス語Ⅵ(1) 中国語Ⅵ(1) フランス語Ⅶ(1) 中国語Ⅶ(1) フランス語Ⅷ(1) 中国語Ⅷ(1) スペイン語Ⅴ(1) 韓国語Ⅴ(1) スペイン語Ⅵ(1) 韓国語Ⅵ(1) スペイン語Ⅶ(1) 韓国語Ⅶ(1) スペイン語Ⅷ(1) 韓国語Ⅷ(1) 日本語Ⅴ(2) 特定言語中級(2) 日本語Ⅵ(2) 特定言語上級(2) 日本語Ⅶ(2)	英語ディスカッション・ディベート(1) 英語文献講読Ⅰ(1) 英語文献講読Ⅱ(1) ドイツ語文献講読Ⅰ(1) ドイツ語文献講読Ⅱ(1) フランス語文献講読Ⅰ(1) フランス語文献講読Ⅱ(1) 中国語文献講読Ⅰ(1) 中国語文献講読Ⅱ(1) スペイン語文献講読Ⅰ(1) スペイン語文献講読Ⅱ(1) 韓国語文献講読Ⅰ(1) 韓国語文献講読Ⅱ(1)		
※自学科他コース専門科目を履修した場合には、専門教育科目として算入されます。						

履修系統図 国際教養学科(国際文化コース)



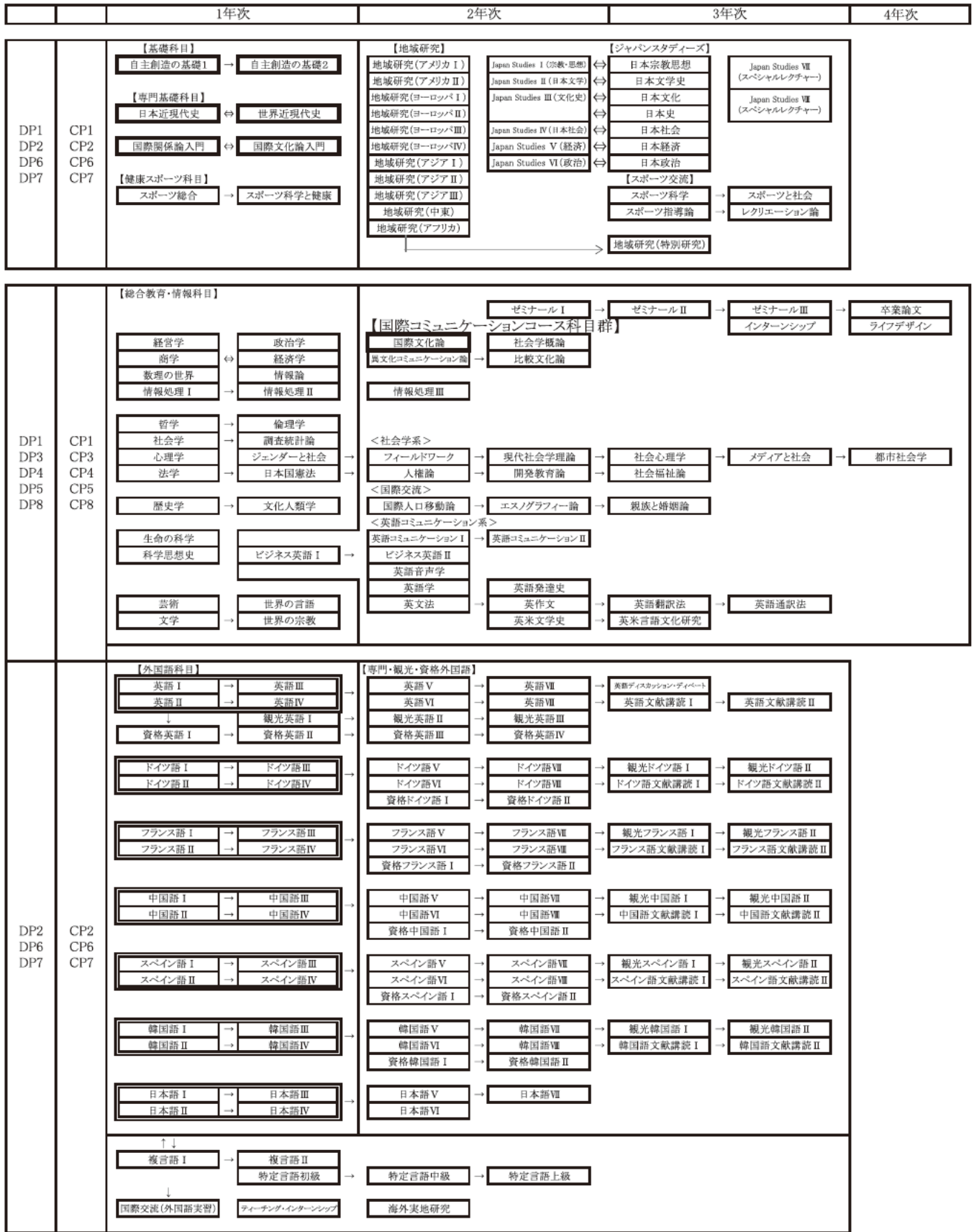
※ディプロマ・ポリシー(DP)及びカリキュラム・ポリシー(CP)の内容は、【教育方針】を参照してください。

授業科目配置表 国際教養学科 (国際コミュニケーションコース)

科目区分	履修区分/条件	1年次	2年次	3年次	4年次	
※専門教育科目のうち、必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 ※コース専門基礎科目並びにコース専門科目は、44単位以上を修得しなければならない						
専門教育科目	コース専門基礎	必修		国際文化論(2)		
		選択	※必修を含めて4単位以上修得	比較文化論(2) 異文化コミュニケーション論(2) 社会学概論(2)		
	コース専門科目	A	※4単位以上修得	フィールドワーク(4) 人権論(4) 開発教育論(4) 現代社会学理論(4)	メディアと社会(4) 社会福祉論(4) 社会心理学(4)	都市社会学(4)
		B	※4単位以上修得	国際人口移動論(4) エスノグラフィー論(4)	親族と婚姻論(4)	
		C		ビジネス英語Ⅰ(1) ビジネス英語Ⅱ(1) 英文法(2) 英語文学論(2) 英作文(2) 英語文学論演習(1)英語発達史(2) 英語学(2) 英語リーディング(2) 英語音声学(2) 英語ライティング(2) 英語コミュニケーションⅠ(2) 英語コミュニケーションⅡ(2)	英米言語文化研究(4) 英語翻訳法(2) 英語通訳法(2)	
	地域研究	必修	国際交流(外国語実習)(2) ティーチング・インターンシップ(2)	地域研究(アメリカⅠ)(2) 地域研究(アメリカⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅠ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅢ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅣ)(2) 地域研究(アジアⅠ)(2) 地域研究(アジアⅡ)(2) 地域研究(アジアⅢ)(2) 地域研究(中東)(2) 海外実地研究(1) 地域研究(アフリカ)(2)	地域研究(特別研究)(2)	
		選択	※6単位以上修得			
	演習	必修				ライフデザイン(1)
		選択		ゼミナールⅠ(1)	ゼミナールⅡ(1) ゼミナールⅢ(1) インターンシップ(2)	卒業論文(4)
	情報	必修	情報処理Ⅰ(1) 情報処理Ⅱ(1)	情報処理Ⅲ(1)		
		選択	観光英語Ⅰ(1)	観光英語Ⅱ(1) 観光英語Ⅲ(1)	観光ドイツ語Ⅰ(1) 観光ドイツ語Ⅱ(1) 観光フランス語Ⅰ(1) 観光フランス語Ⅱ(1) 観光中国語Ⅰ(1) 観光中国語Ⅱ(1) 観光スペイン語Ⅰ(1) 観光スペイン語Ⅱ(1) 観光韓国語Ⅰ(1) 観光韓国語Ⅱ(1)	
	観光外国語	必修				
選択						
ジャパニスタディーズ	必修		Japan StudiesⅠ(宗教・思想)(2) Japan StudiesⅡ(日本文学)(2) Japan StudiesⅢ(文化史)(2) Japan StudiesⅣ(日本社会)(2) Japan StudiesⅤ(経済)(2) Japan StudiesⅥ(政治)(2)	日本宗教思想(2) 日本文化(2) 日本文学史(2) 日本史(2) 日本社会(2) 日本経済(2) 日本政治(2) Japan StudiesⅦ (スペシャルレクチャー)(2) Japan StudiesⅧ (スペシャルレクチャー)(2)		
	選択					
専門外国語	必修	複言語Ⅰ(1) 複言語Ⅱ(1) 特定言語初級(2)	英語Ⅴ(1) ドイツ語Ⅴ(1) 英語Ⅵ(1) ドイツ語Ⅵ(1) 英語Ⅶ(1) ドイツ語Ⅶ(1) 英語Ⅷ(1) ドイツ語Ⅷ(1) フランス語Ⅴ(1) 中国語Ⅴ(1) フランス語Ⅵ(1) 中国語Ⅵ(1) フランス語Ⅶ(1) 中国語Ⅶ(1) フランス語Ⅷ(1) 中国語Ⅷ(1) スペイン語Ⅴ(1) 韓国語Ⅴ(1) スペイン語Ⅵ(1) 韓国語Ⅵ(1) スペイン語Ⅶ(1) 韓国語Ⅶ(1) スペイン語Ⅷ(1) 韓国語Ⅷ(1) 日本語Ⅴ(2) 特定言語中級(2) 日本語Ⅵ(2) 特定言語上級(2) 日本語Ⅶ(2)	英語ディスカッション・ディベート(1) 英語文献講読Ⅰ(1) 英語文献講読Ⅱ(1) ドイツ語文献講読Ⅰ(1) ドイツ語文献講読Ⅱ(1) フランス語文献講読Ⅰ(1) フランス語文献講読Ⅱ(1) 中国語文献講読Ⅰ(1) 中国語文献講読Ⅱ(1) スペイン語文献講読Ⅰ(1) スペイン語文献講読Ⅱ(1) 韓国語文献講読Ⅰ(1) 韓国語文献講読Ⅱ(1)		
	選択					

※自学科他コース専門科目を履修した場合には、専門教育科目として算入されます。

履修系統図 国際教養学科(国際コミュニケーションコース)



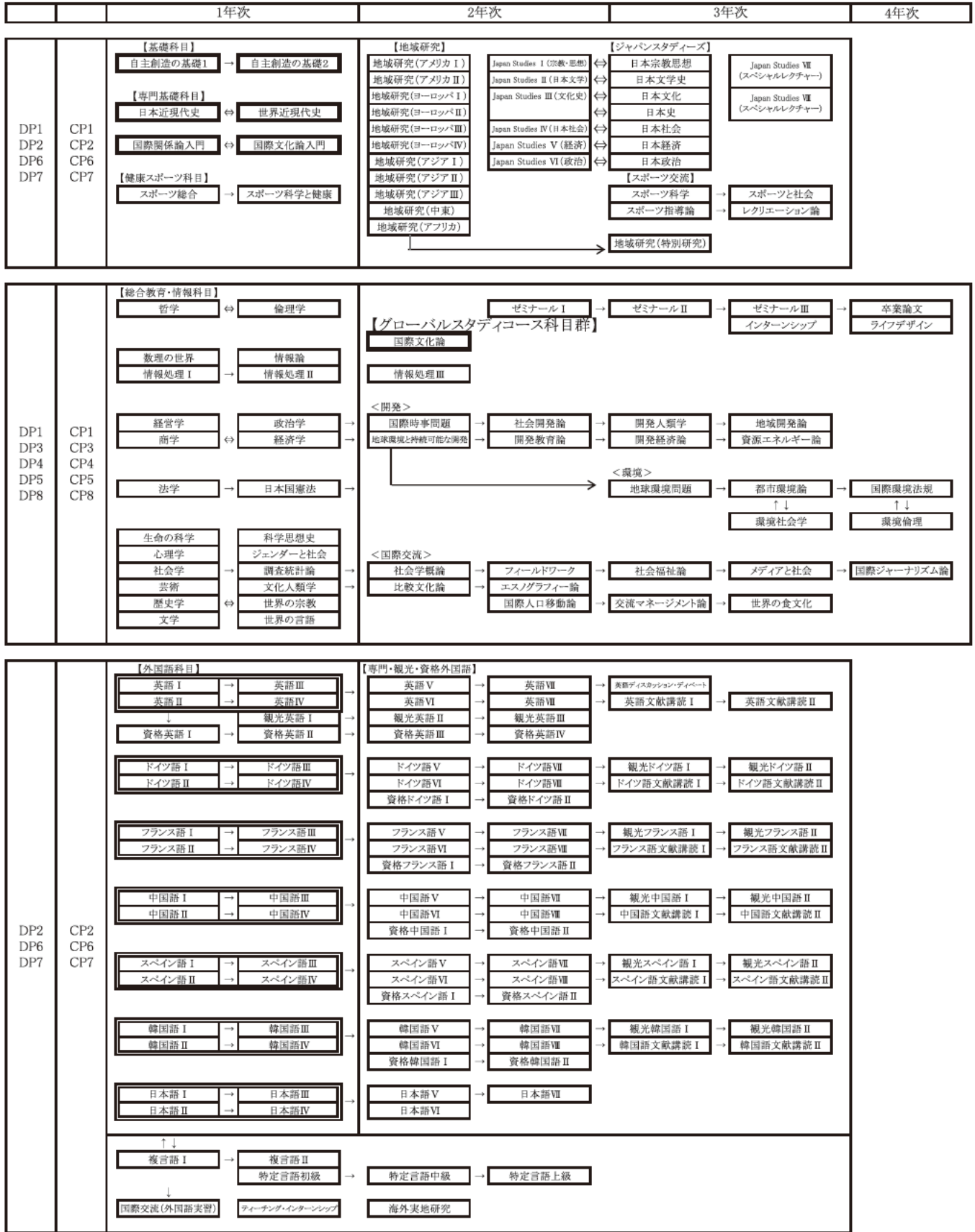
※ディプロマ・ポリシー(DP)及びカリキュラム・ポリシー(CP)の内容は、【教育方針】を参照してください。

授業科目配置表 国際教養学科 (グローバルスタディコース)

科目区分	履修区分/条件	1年次	2年次	3年次	4年次	
※専門教育科目のうち、必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 ※コース専門基礎科目並びにコース専門科目は、44単位以上を修得しなければならない						
専門教育科目 全コース共通専門科目	コース専門基礎	必修		国際文化論(2)		
		選択	※必修含めて4単位以上修得	地球環境と持続可能な開発(2) 国際時事問題(2) 社会学概論(2) 比較文化論(2)		
	コース専門科目	A	※12単位以上修得	開発教育論(4) 社会開発論(4)	開発経済論(4) 地域開発論(4) 開発人類学(4) 資源エネルギー論(4) 交流マネジメント論(4)	
		B	※8単位以上修得		地球環境問題(4) 環境社会学(4) 都市環境論(4)	環境倫理(4) 国際環境法規(4)
		C	※8単位以上修得	国際人口移動論(4) フィールドワーク(4) エスノグラフィー論(4)	社会福祉論(4) 世界の食文化(4) メディアと社会(4)	国際ジャーナリズム論(4)
	地域研究	必修	国際交流(外国語実習)(2) ティーチング・インターンシップ(2)	地域研究(アメリカⅠ)(2) 地域研究(アメリカⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅠ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅢ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅣ)(2) 地域研究(アジアⅠ)(2) 地域研究(アジアⅡ)(2) 地域研究(アジアⅢ)(2) 地域研究(中東)(2) 海外実地研究(1) 地域研究(アフリカ)(2)	地域研究(特別研究)(2)	
		選択	※6単位以上修得			
	演習	必修				ライフデザイン(1)
		選択		ゼミナールⅠ(1)	ゼミナールⅡ(1) ゼミナールⅢ(1) インターンシップ(2)	卒業論文(4)
	情報	必修	情報処理Ⅰ(1) 情報処理Ⅱ(1)	情報処理Ⅲ(1)		
		選択	観光英語Ⅰ(1)	観光英語Ⅱ(1) 観光英語Ⅲ(1)	観光ドイツ語Ⅰ(1) 観光ドイツ語Ⅱ(1) 観光フランス語Ⅰ(1) 観光フランス語Ⅱ(1) 観光中国語Ⅰ(1) 観光中国語Ⅱ(1) 観光スペイン語Ⅰ(1) 観光スペイン語Ⅱ(1) 観光韓国語Ⅰ(1) 観光韓国語Ⅱ(1)	
	観光外国語	必修				
選択						
ジャパンスタディーズ	必修		Japan StudiesⅠ(宗教・思想)(2) Japan StudiesⅡ(日本文学)(2) Japan StudiesⅢ(文化史)(2) Japan StudiesⅣ(日本社会)(2) Japan StudiesⅤ(経済)(2) Japan StudiesⅥ(政治)(2)	日本宗教思想(2) 日本文化(2) 日本文学史(2) 日本史(2) 日本社会(2) 日本経済(2) 日本政治(2) Japan StudiesⅦ (スペシャルレクチャー)(2) Japan StudiesⅧ (スペシャルレクチャー)(2)		
	選択					
専門外国語	必修	複言語Ⅰ(1) 複言語Ⅱ(1) 特定言語初級(2)	英語Ⅴ(1) ドイツ語Ⅴ(1) 英語Ⅵ(1) ドイツ語Ⅵ(1) 英語Ⅶ(1) ドイツ語Ⅶ(1) 英語Ⅷ(1) ドイツ語Ⅷ(1) フランス語Ⅴ(1) 中国語Ⅴ(1) フランス語Ⅵ(1) 中国語Ⅵ(1) フランス語Ⅶ(1) 中国語Ⅶ(1) フランス語Ⅷ(1) 中国語Ⅷ(1) スペイン語Ⅴ(1) 韓国語Ⅴ(1) スペイン語Ⅵ(1) 韓国語Ⅵ(1) スペイン語Ⅶ(1) 韓国語Ⅶ(1) スペイン語Ⅷ(1) 韓国語Ⅷ(1) 日本語Ⅴ(2) 特定言語中級(2) 日本語Ⅵ(2) 特定言語上級(2) 日本語Ⅶ(2)	英語ディスカッション・ディベート(1) 英語文献講読Ⅰ(1) 英語文献講読Ⅱ(1) ドイツ語文献講読Ⅰ(1) ドイツ語文献講読Ⅱ(1) フランス語文献講読Ⅰ(1) フランス語文献講読Ⅱ(1) 中国語文献講読Ⅰ(1) 中国語文献講読Ⅱ(1) スペイン語文献講読Ⅰ(1) スペイン語文献講読Ⅱ(1) 韓国語文献講読Ⅰ(1) 韓国語文献講読Ⅱ(1)		
	選択					

※自学科他コース専門科目を履修した場合には、専門教育科目として算入されます。

履修系統図 国際教養学科(グローバルスタディコース)

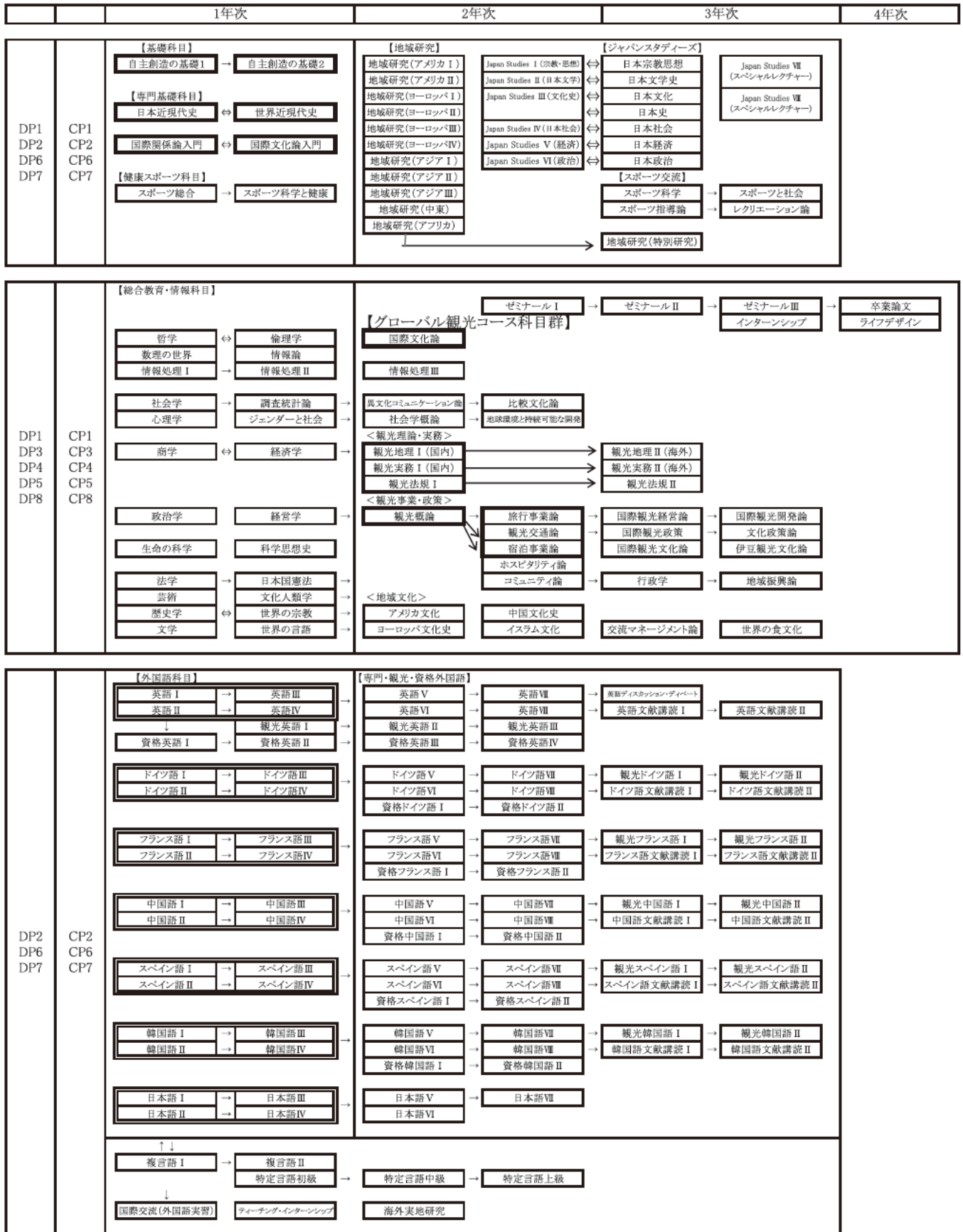


※ディプロマ・ポリシー(DP)及びカリキュラム・ポリシー(CP)の内容は、【教育方針】を参照してください。

授業科目配置表 国際教養学科（グローバル観光コース）

科目区分	履修区分/条件	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
<small>※ 専門教育科目のうち、必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 ※ コース専門基礎科目並びにコース専門科目は、44単位以上を修得しなければならない</small>						
専門教育科目 全コース共通専門科目	コース専門基礎	必修		国際文化論(2)		
		選択	※必修を含めて4単位以上修得	地球環境と持続可能な開発(2) 異文化コミュニケーション論(2) 社会学概論(2) 比較文化論(2)		
	コース専門科目	A	※14単位以上修得	観光法規Ⅰ(2) 観光地理Ⅰ(国内)(2) 観光実務Ⅰ(国内)(2)	観光法規Ⅱ(2) 国際観光経営論(4) 観光地理Ⅱ(海外)(2) 国際観光開発論(4) 観光実務Ⅱ(海外)(2) 国際観光政策(4) 国際観光文化論(4)	
		B	※14単位以上修得	観光概論(2) 旅行事業論(2) コミュニティ論(4) 宿泊事業論(2) ホスピタリティ論(2) 観光交通論(2)	行政学(4) 伊豆観光文化論(2) 文化政策論(4) 世界の食文化(4) 地域振興論(4)	
		C	※4単位以上修得	アメリカ文化(4) イスラム文化(4) ヨーロッパ文化史(4) 中国文化史(4)	交流マネージメント論(4)	
	地域研究		国際交流(外国語実習)(2) ティーチング・インターンシップ(2)	地域研究(アメリカⅠ)(2) 地域研究(アメリカⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅠ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅡ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅢ)(2) 地域研究(ヨーロッパⅣ)(2) 地域研究(アジアⅠ)(2) 地域研究(アジアⅡ)(2) 地域研究(アジアⅢ)(2) 地域研究(中東)(2) 海外実地研究(1) 地域研究(アフリカ)(2)	地域研究(特別研究)(2)	
		必修				ライフデザイン(1)
	演習	必修				
		選択		ゼミナールⅠ(1)	ゼミナールⅡ(1) ゼミナールⅢ(1) インターンシップ(2)	卒業論文(4)
	情報	必修				
		選択	情報処理Ⅰ(1) 情報処理Ⅱ(1)	情報処理Ⅱ(1)		
	観光外国語	必修	観光英語Ⅰ(1)	観光英語Ⅱ(1) 観光英語Ⅲ(1)	観光ドイツ語Ⅰ(1) 観光ドイツ語Ⅱ(1) 観光フランス語Ⅰ(1) 観光フランス語Ⅱ(1) 観光中国語Ⅰ(1) 観光中国語Ⅱ(1) 観光スペイン語Ⅰ(1) 観光スペイン語Ⅱ(1) 観光韓国語Ⅰ(1) 観光韓国語Ⅱ(1)	
選択						
ジャパンスタディーズ	必修		Japan StudiesⅠ(宗教・思想)(2) Japan StudiesⅡ(日本文学)(2) Japan StudiesⅢ(文化史)(2) Japan StudiesⅣ(日本社会)(2) Japan StudiesⅤ(経済)(2) Japan StudiesⅥ(政治)(2)	日本宗教思想(2) 日本文化(2) 日本文学史(2) 日本史(2) 日本社会(2) 日本経済(2) 日本政治(2) Japan StudiesⅦ (スペシャルレクチャー)(2) Japan StudiesⅧ (スペシャルレクチャー)(2)		
	選択					
専門外国語	必修	複言語Ⅰ(1) 複言語Ⅱ(1) 特定言語初級(2)	英語Ⅴ(1) ドイツ語Ⅴ(1) 英語Ⅵ(1) ドイツ語Ⅵ(1) 英語Ⅶ(1) ドイツ語Ⅶ(1) 英語Ⅷ(1) ドイツ語Ⅷ(1) フランス語Ⅴ(1) 中国語Ⅴ(1) フランス語Ⅵ(1) 中国語Ⅵ(1) フランス語Ⅶ(1) 中国語Ⅶ(1) フランス語Ⅷ(1) 中国語Ⅷ(1) スペイン語Ⅴ(1) 韓国語Ⅴ(1) スペイン語Ⅵ(1) 韓国語Ⅵ(1) スペイン語Ⅶ(1) 韓国語Ⅶ(1) スペイン語Ⅷ(1) 韓国語Ⅷ(1) 日本語Ⅴ(2) 特定言語中級(2) 日本語Ⅵ(2) 特定言語上級(2) 日本語Ⅶ(2)	英語ディスカッション・ディベート(1) 英語文献講読Ⅰ(1) 英語文献講読Ⅱ(1) ドイツ語文献講読Ⅰ(1) ドイツ語文献講読Ⅱ(1) フランス語文献講読Ⅰ(1) フランス語文献講読Ⅱ(1) 中国語文献講読Ⅰ(1) 中国語文献講読Ⅱ(1) スペイン語文献講読Ⅰ(1) スペイン語文献講読Ⅱ(1) 韓国語文献講読Ⅰ(1) 韓国語文献講読Ⅱ(1)		
	選択					
<small>※ 自学科他コース専門科目を履修した場合には、専門教育科目として算入されます。</small>						

履修系統図 国際教養学科(グローバル観光コース)



※ディプロマ・ポリシー(DP)及びカリキュラム・ポリシー(CP)の内容は、【教育方針】を参照してください。

外国語の履修

外国語科目（〇〇語Ⅰ～Ⅳ）【1年次開講科目】

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、韓国語、日本語は、Ⅰ～Ⅳまで同時またはⅠから順に履修してください。なお、**いずれか1外国語を選択し8単位以上(Ⅰ～Ⅳすべて)を修得しなければ卒業できません。**

2年次以降に新規に履修する場合は、別途掲示される外国語事前登録期間に手続きが必要になるので注意してください。

外国人留学生が日本語を履修する場合を除き、1年次に2言語を履修する場合は必ず英語を含めなければなりません。

専門外国語（〇〇語Ⅴ～Ⅷ）【2年次開講科目】

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、韓国語のⅤ～Ⅷを履修するには、Ⅰ～Ⅳを履修登録済であり、そのうち3科目以上修得していなければなりません。ただし、英語Ⅴ～Ⅷについては、TOEIC® L&Rテスト400点またはTOEIC® L&R I P 400点以上を取得していれば履修することができます。その場合は、スコアを証明できる書類を前期履修登録開始前に教務課に提出してください。また、英語Ⅶを履修するには英語Ⅴを、英語Ⅷを履修するには英語Ⅵを修得していなければなりません。

日本語Ⅴ～Ⅶは、2年次以降に履修することができます。

専門外国語（特定言語）

特定言語はロシア語、アラビア語、スワヒリ語、モンゴル語、インドネシア語、ベンガル語、マレー語などの開講を予定していますが、年度によっては開講しない語種もありますので、履修登録時に確認してください。特定言語は1言語を選択し、初級から上級まで同時または初級から順に履修してください。なお、特定言語は卒業までに2言語以上履修することはできません。

資格外国語

資格外国語は、各種検定試験やそのレベルによって複数開講されることがあります。必ずシラバスで授業内容、履修条件を確認してから履修するようにしてください。なお、同一科目名で授業内容が違う場合、その科目を履修することはできません。（例：「資格英語Ⅰ【英検】」と「資格英語Ⅰ【TOEFL】」は履修することができません。）

観光外国語・外国語文献講読

観光外国語と外国語文献講読については、シラバスで授業内容、履修条件を確認してから履修するようにしてください。

ゼミナール・卒業論文

卒業論文は、国際関係学部で学んだ成果の集大成となるものです。卒業論文の指導と評価を受けるためには、原則として同一教員のゼミナールを履修し、その教員の指導のもとで卒業論文を作成してください。

●ゼミナール担当教員の決定

- ・2年次前期にゼミナールの履修に関するガイダンスを行います。ゼミナール及び卒業論文に関する詳細は、このガイダンスでお知らせします。履修希望者はUNIPAに掲示されるお知らせを確認し、ガイダンスに出席してください。
- ・各自が研究したいテーマや対象にしたい地域、使用言語及び担当教員の専攻分野を考慮して、履修前に担当教員と相談し、選考を受け、了承を得て決定します。できるだけ早い時期に研究テーマを絞り、関連する専門科目を履修したうえで、希望する担当教員を決めることが望まれます。

●ゼミナール・卒業論文の履修条件

- ・ゼミナールⅠ・ゼミナールⅡ・ゼミナールⅢ・卒業論文は選択科目です。
- ・卒業論文は、3年終了時の卒業に必要な単位数の合計が、76単位以上無ければ履修できません。

●卒業論文の提出

- ・卒業論文は、1月中旬の指定された日時に、教務課に提出してください。この指定された日時以外は、いかなる理由があっても受理されません。
- ・「卒業論文」（4単位）の履修希望者は4年次の年度初め（履修登録期間内）に必ず履修登録を行ってください。履修登録のない「卒業論文」については受理できませんので、注意してください。

インターンシップ

●インターンシップ

- ・インターンシップは講義や演習等で学んだ諸知識を、実際の企業活動で体験することにより、学生個人の認識に昇華・定着させる科目です。
 - a 課題発見のための学習ができる。
 - b 学生から社会人への自覚を促すことができる。
 - c 企業の人材育成への要請と大学教育との調整ができる。
 - d 企業と大学の諸交流を深めることができる。

●実習期間とタイプは次の通りとします。

- ・一人1日8時間×10日（2週間）の実習を一実習とします。
- ・集中実習タイプとは、夏季休暇中に実施するものです。
- ・その他の実習タイプ

●実習条件

- ・実習先企業は原則として大学と契約した企業です。
- ・学生が個人的に交渉した企業でも、大学の定める基準に適合し、契約すれば対象として認めます。
- ・実習日及び時間は実習先企業の諸規定によります。
- ・日当及び手当は原則として支給されません。
- ・通勤中や実習中に発生した通常の事故や損害については、原則として大学が負担することとします。

●受講の方法と手続き

- ・受講者は、4月の履修登録期間中に「インターンシップ」を履修登録してください。また、日程・手続き・受け入れ企業先に関するガイダンス日程については、4月～5月に掲示します。
- ・受け入れ企業確定後、実習先企業との調整を担当教員から受け、実習日程を調整します。
- ・**指導教員による個別指導**を実施します。また、ビジネスマナー講座もしくはそれに相当する措置を実施しますので、インターンシップ前に必ず受講してください。なお受講しない場合、実習を許可しない場合があります。
- ・その後の日程に従ってインターンシップを実施します。
- ・インターンシップ終了後、報告会を実施しますので、必ず出席してください。（11月下旬～12月上旬）

●単位認定

- ・インターンシップ期間中は企業担当者の指示により各種業務に従事してください。
- ・毎日、実習日誌を作成して企業担当指導者に提出し、点検を受けてください。
- ・実習期間終了後2週間以内に、実習報告書及び課題レポートを作成し、日誌、証明書を添えて、指導教員に提出してください。
- ・指導教員が、提出各種書類及び実習先指導担当者報告書を審査し、総合的に評価し、単位を認定します。

国際交流（外国語実習）

国際交流（外国語実習）は、語学の実践力を向上させる目的で、日本大学及び国際関係学部が外国の大学等で実施する短期海外研修に参加し、一定の成果を修めた者に対して単位を付与するものです。

① 対象となる短期海外研修

(1) 日本大学本部が実施する短期海外研修（2020年度予定）

学習言語	地域	研修先	研修期間
英語	イギリス	ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ	8月上旬～9月上旬
英語	オーストラリア	ボンド大学	2月上旬～3月中旬

上記プログラムは、日本大学本部が取扱窓口となりますので、本部国際交流課ウェブサイトにて当該年度の募集要項を確認の上、直接申込み手続きを取ってください。

(2) 日本大学国際関係学部が実施する短期海外語学研修

(2020年度予定)

学習言語	地域	研修先	研修期間
英語	アメリカ	ストーニーブルック大学	8月上旬～8月中旬
		TIEC (Texas International Education Consortium)	2月上旬～3月上旬
		ハワイ大学	2月上旬～2月下旬
	カナダ	トロント大学	8月上旬～8月下旬
ドイツ語	ドイツ	フライブルク大学	8月上旬～8月下旬
フランス語	フランス	西カトリック大学	8月上旬～8月下旬
中国語	中国	北京大学国際関係学院	8月上旬～8月下旬
スペイン語	スペイン	サラマンカ大学	8月上旬～8月下旬
韓国語	韓国	慶熙大学校	8月上旬～8月下旬

- ・履修していない言語の地域に参加希望の学生は、担当教員と事前に相談してください。
- ・参加希望者が少数の場合は、実施されないことがあります。
- ・研修期間、研修内容、申込手続方法、参加費用等の詳細は、UNIPAや掲示板、各説明会で説明します。不明な点については国際教育センターへお問い合わせください。

② 履修できる学年 1年次から4年次まで履修できます。

③ 成績評価

日本大学が実施する短期海外研修は、1回に限り単位認定します。認定された単位は、1年間に履修できる最高単位には含みません。また、日本大学国際関係学部が実施する短期海外語学研修は、各地域担当教員が成績評価を行います。

※「国際交流（外国語実習）」（2単位）の履修希望者は原則として、留学を希望する年度初めの履修登録期間内に必ず履修登録を行ってください。なお、研修に参加しなかった場合は、後期の履修登録科目の削除・追加期間に履修登録を削除してください。履修登録期間に履修登録をできなかった場合、後期履修登録の削除・追加期間に履修登録をしてください。後期に募集を行う短期海外研修（ボンド大学、TIEC、ハワイ大学）は、後期の履修登録科目の削除・追加期間に追加登録することができます。

相互履修科目

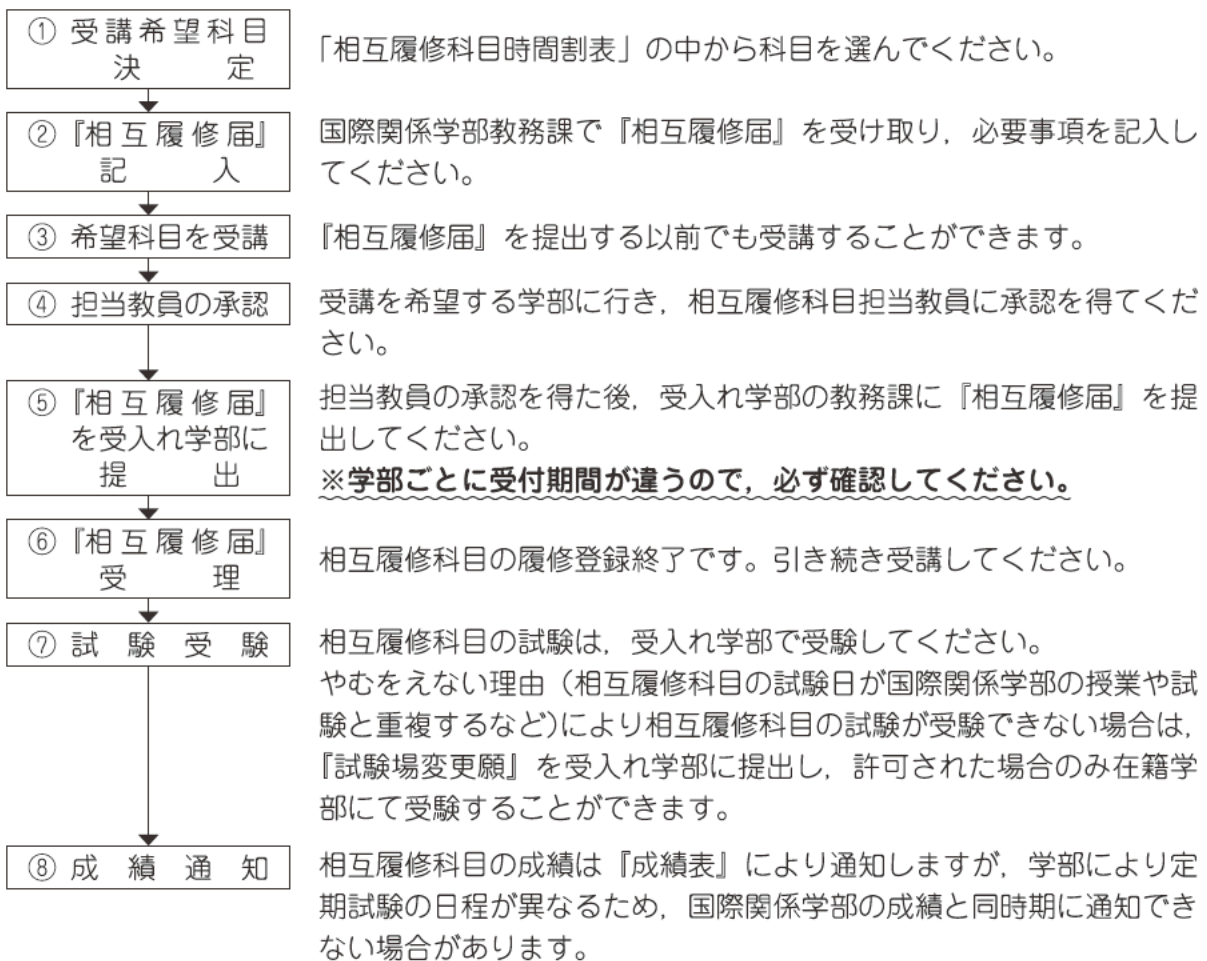
【日本大学他学部との相互履修科目】

相互履修とは、卒業単位として日本大学他学部の科目を履修できる制度です。この制度によって日本大学ならではの幅広い教育・研究の総合性が発揮されるとともに、学生同士の交流も深まり、学問上の専門的な偏りのない豊かな人間性の確立が期待されます。相互履修科目は各学部がその開講科目のうちから指定して履修を認めるものです。

相互履修制度を利用する場合は、国際関係学部の必修科目の時間割を優先し、卒業に必要な単位と他学部への通学時間などを充分考慮して決定してください。

① 相互履修の手順

他学部の授業を履修するためには、次の手順による手続きが必要になります。



② 履修できる学年

3年次から履修できます。

③ 履修登録について

上記①の⑥までの手順が終了した後、教務課で履修登録処理を行います。履修登録処理が終了次第、UNIPAの「学生時間割表」で確認できます。

④ 単位の取り扱い

自由選択科目として卒業単位に算入します。なお、履修単位は年間最高履修登録単位数に含まれます。

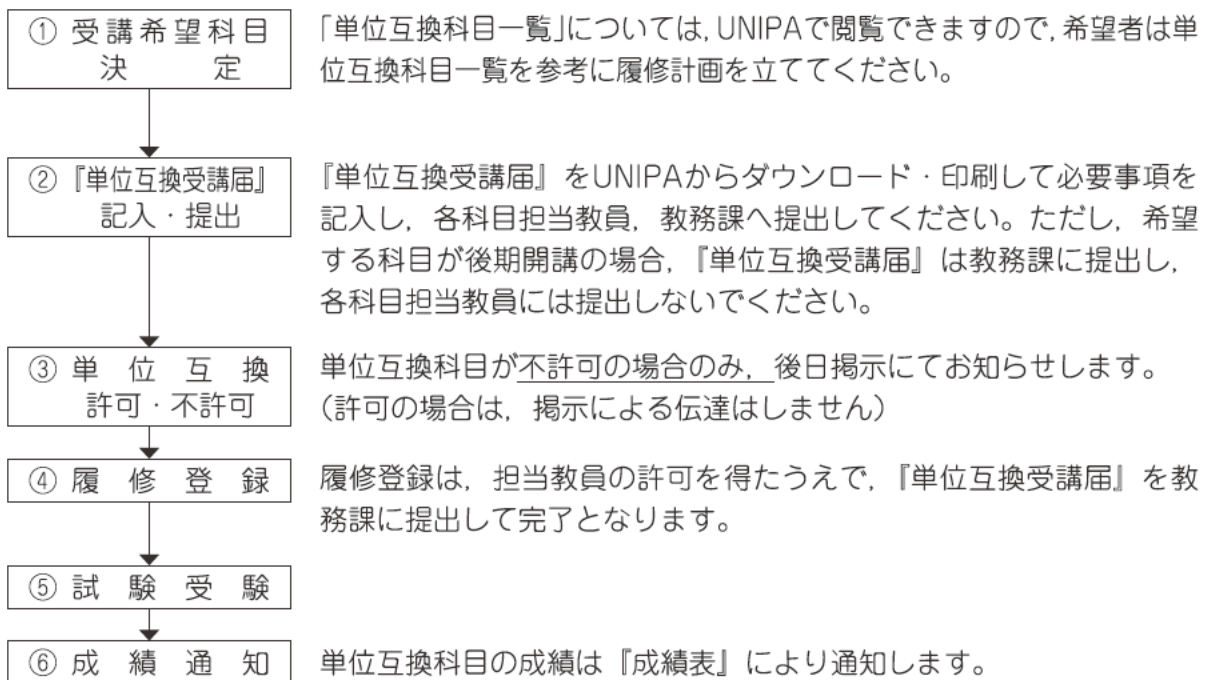
単位互換科目

【短期大学部（三島校舎）との単位互換科目】

国際関係学部の学生は、三島キャンパスに併設されている短期大学部（三島校舎）の授業を履修することが可能です。短期大学部（三島校舎）との単位互換制度を利用する場合は、国際関係学部の必修科目の時間割を優先し、卒業に必要な単位を充分考慮して決定してください。

① 単位互換の手順

短期大学部（三島校舎）の授業を履修するためには、次の手順による手続きが必要になります。



② 履修できる学年

1年次から履修できます。

③ 履修上のルール

- ①単位互換科目の1年間で履修登録できる単位数は、20単位を上限とします。また単位互換科目の履修単位は、年間最高履修登録単位数に含まれます。
- ②上位学年に設置された科目は、その学年になるまで履修できません。
- ③履修できる科目は、UNIPAで閲覧できます。
- ④単位互換科目の中には、履修制限等の理由により、開講学科の学生が優先される為、受講できない場合もあります。

④ 履修登録について

上記①の④までの手順が終了した後、教務課で履修登録処理を行います。履修登録処理が終了次第、UNIPAの「学生時間割表」で確認できます。

⑤ 単位の取り扱い

自由選択科目として卒業単位に算入します。なお、履修単位は年間最高履修登録単位数に含まれません。

教 職 課 程

教職課程とは

教育職員免許法に定められる所定の単位修得により、教育職員免許状を取得するための課程のことです。

国際関係学部では、国際教養学科に教職課程が設置されています。本学部を卒業すること(学位の取得)及び教職課程の所定の要件を満たし単位を修得することによって、教員免許を取得することができます。国際総合政策学科の学生も履修可能ですが、単位の取り扱いが異なりますので注意してください。本学部で教職課程を履修する場合には、1年次から履修するようにしてください。原則として、3年次以降からの履修はできません。

教職課程は通常の授業以外に、教職科目の履修や介護等体験、教育実習への参加が必要となりますので、教員を希望するという強い意志をもって履修するようにしてください。また、4年間で複数回に及ぶガイダンスへの出席を必須とします(正当な理由がなく、無断遅刻、無断欠勤、提出物の遅延をすることは認められません)。

実際に教員になるためには、大学で教職課程の単位を修得し卒業時に免許を取得すること、各関係機関において実施される教員採用試験に合格することが必要です。このように、教員の採用は容易なものではありませんが、本学部では、志を高く持つ学生を広く求めています。

① 取得できる免許状

国際関係学部の在学生が取得できる免許状は次のとおりです。

教員免許状を取得するには、卒業(学位の取得)することが前提条件(基礎資格)となっています。

免許状の種類	教科
中学校教諭一種免許状	英 語
高等学校教諭一種免許状	英 語

② 履修方法

本学部では、中学校一種・高等学校一種免許状の同時取得を目指します。そのために必要な単位数は、次ページ「教職課程履修科目」のとおりです。必修科目、選択必修科目、卒業単位に参入されない科目など様々な特性を持った科目があります。よく読んで単位不足にならないよう気をつけてください。なお、海外留学等で修得した単位認定科目は、本学の卒業単位に換算されても、教員免許状取得に要する科目(次ページ「その他省令による科目」を除く)の単位としては認定されません。半期以上留学する場合は、事前に教務課に報告してください。

教職課程の履修を取り止める場合には、別途「教職課程取り止め願」を提出する必要があります。取り止める場合には、教務課で「教職課程取り止め願」に必要事項を記入・押印の上、教務課に提出してください。

教職課程履修科目

免許法による区分	配当年次	1年	2年	3年	4年	最低履修単位数
その他省令による科目	日本国憲法	○ 日本国憲法 2				2
	体育	○ スポーツ科学と健康 2 ○ スポーツ総合 1				3
	外国語コミュニケーション	○ 英語Ⅰ 2 ○ 英語Ⅱ 2 ○ 英語Ⅲ 2 ○ 英語Ⅳ 2 △ 資格英語Ⅰ 1 △ 資格英語Ⅱ 1	○ 英語Ⅴ 1 ○ 英語Ⅵ 1 ○ 英語Ⅶ 1 ○ 英語Ⅷ 1 △ 資格英語Ⅲ 1 △ 資格英語Ⅳ 1			14
	情報機器の操作	○ 情報処理Ⅰ 1 ○ 情報処理Ⅱ 1				2
	教育の基礎的理解に関する科目	★ ○ 教育原論 2 ★ ○ 現代教職論 2	★ ○ 教育制度論 2 ★ ○ 発達と学習 2 ★ ○ 特別支援教育概論 1 ★ ○ 教育課程論 2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		★ ○ 道徳教育の理論と方法 2 ★ ○ 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2 ★ ○ 教育の方法・技術論 2 ★ ○ 生徒指導・進路指導論 2	★ ○ 教育相談(※1) 2			
教育実践に関する科目			★ ○ 教育実習事前・事後指導(※2) 1 ★ ○ 教育実習Ⅰ 4 ★ 教育実習Ⅱ 2	★ ○ 教職実践演習(中・高) 2		28
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学		○ 英語学 2 ○ 英語音声学 2 ○ 英文法 2			
	英語文学		○ 英語文学論 2 英語文学論演習 1			
	英語コミュニケーション		○ 英語リーディング 2 ○ 英語ライティング 2 ○ 英語コミュニケーションⅠ 2 英語コミュニケーションⅡ 2	英語ディスカッション・ディベート 1		
	異文化理解		○ 異文化コミュニケーション論 2 比較文化論 2	英米言語文化研究 4		
各教科の指導法		★ ○ 英語科教育法Ⅰ 2 ★ ○ 英語科教育法Ⅱ 2	★ ○ 英語科教育法Ⅲ 2 ★ ○ 英語科教育法Ⅳ 2		(※3) 28	
大学が独自に設定する科目	国際交流(外国語実習) 2	○ 人権論 4 ティーチング・インターンシップ 2 ★ 教育実践体験研究Ⅰ 2 ★ 教育実践体験研究Ⅱ 2 ★ 学校インターンシップ 2 ★ 学校安全 2				4
合計単位						81

○印は、教職必修科目です。

△印は、選択必修科目です。(△印の科目を必ず2科目以上修得してください)

★印は、卒業単位(自由選択単位を含む)に算入できません。またGPAにも算入されません。

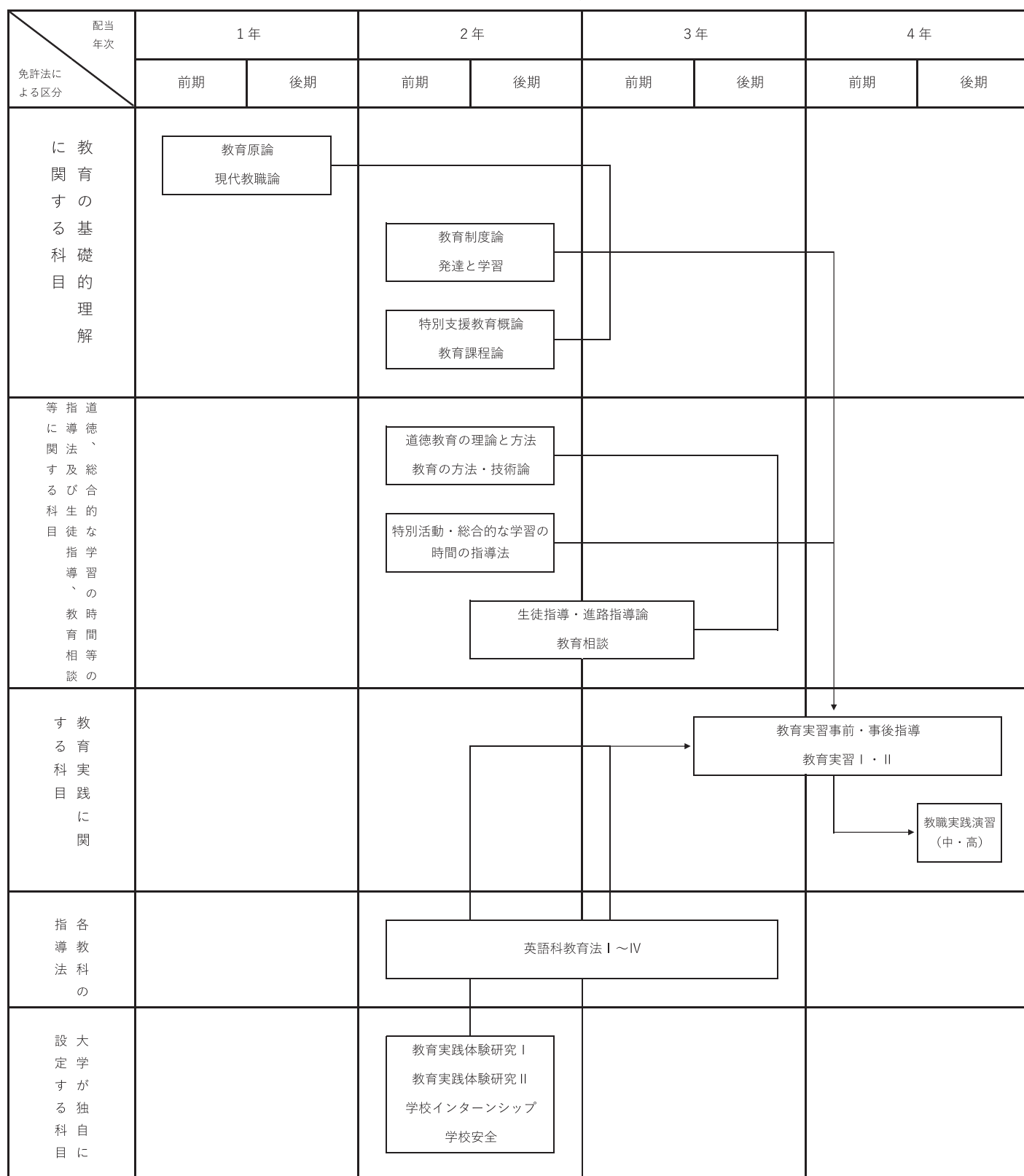
※1 教育実習前の修得が望ましい。

※2 教育実習実施直前の学期に修得してください。

(例：4年前期に教育実習の場合3年後期に履修)

※3 教職必修科目に加えて、数科目履修し教科及び教科の指導法に関する科目を28単位以上修得してください。

教職課程履修系統図



※「教科に関する専門的事項」については、国際教養学科の履修系統図を参照してください。

③ 教育実習

教育実習は3年次後期又は4年次に実施することができます。教育実習校には、実習を行う前年の早い時期に受入れ許可をもらう必要があります（教育実習内諾）。ただし、教育実習内諾及び教育実習を行うには以下の条件がありますので、指定された日までに条件をクリアするよう努めてください。

(1) 教育実習内諾許可条件（教育実習実施前々年度まで）

- ① 「教育原論」の修得が必要です。
- ② 次のいずれかのスコアを取得し、2年次（教育実習を3年次に行う場合は1年次）後期授業終了時までにスコアの写しを教務課に提出する必要があります。（名称・試験形態の変更により、スコアが変更される場合があります）
 - ・ 実用英語技能検定 2級以上
 - ・ TOEFL ITP®（Level 1） 400点以上
 - ・ TOEIC® 公開テスト 450点以上
 - ・ TOEIC® L & R IP 450点以上
 - ・ TOEFL iBT® 32点以上
- ③ 教職課程に関する事務手続き・ガイダンスに出席することが必要です。

(2) 教育実習許可条件（教育実習実施前年度まで）

- ① 次のいずれかのスコアを取得し、指定された期日までにスコアの写しを教務課に提出する必要があります。他の検定については、以下スコアと同等以上の取得が求められます。（名称・試験形態の変更等により、スコアが変更される場合があります）
 - ・ 実用英語技能検定 2級以上
 - ・ TOEFL ITP®（Level 1） 450点以上
 - ・ TOEIC® 公開テスト 450点以上
 - ・ TOEIC® L & R IP 450点以上
 - ・ TOEFL iBT® 45点以上
- ② 「英語科教育法Ⅰ・Ⅱ」の修得が必要です。
- ③ 「英語Ⅰ～Ⅶ」の全ての修得が必要です。
- ④ 「現代教職論」、「発達と学習」、「道徳教育の理論と方法」、「特別活動論」、「生徒指導・進路指導論」の5科目のうち2科目以上の修得が必要です。
- ⑤ 「英語学」、「英語音声学」、「英文法」、「英語文学論」の4科目のうち、2科目以上の修得が必要です。
- ⑥ 教職課程に関する事務手続き・ガイダンスに出席することが必要です。

(3) 教育実習直前

「教育実習事前・事後指導」の履修が必要です。

④ 介護等の体験

中学校教諭免許状を取得するためには、「教育職員免許法の特例としての介護等の体験」が必要となります。

「介護等の体験」の概要

- (1) 体験期間：特別支援学校 2 日間，社会福祉施設 5 日間の合計 7 日間です。
- (2) 体験の学年・時期：「介護等の体験」は 3 年次または 4 年次 8 ～ 10 月に実施予定です。
- (3) 体験内容・費用：体験内容の詳細は，各体験施設等の指示によります。また費用は自己負担となります。

⑤ 英語教員を志す学生へ

平成25年6月14日に閣議決定された教育振興基本計画では，未来への飛躍を実現する人材の養成について記載があり，英語教員に求められる英語力の目標は，英検準1級，TOEFL iBT® 80点，TOEIC® L & R IP730点程度以上とあります。また，英語教員の採用試験では，独自に英語力の基準を設定している教育委員会等があります。令和2年度静岡県公立学校教員採用選考試験では，英検準1級，TOEFL iBT® 80点，TOEIC® L & R IP800点以上で加点がされ，採用試験を有利にすすめることができます。

英語教員を志す学生は，このような状況を踏まえ，自分の英語力を正確に把握して，自分に合った具体的で達成可能な目標を設定し，実現させてください。それを積み重ねていくことが大切です。目標達成のための近道はありません。

⑥ 履修カルテ

入学から卒業，教員免許取得までの，学習内容，理解度，技能や態度等を記入し，教員として必要な資質が身についているかを学生本人及び教職担当教員が確認するものです。毎年4月に実施するガイダンスで記入し，4年次後期に開講している「教職実践演習」で完成させます。

⑦ 小学校教員養成特別プログラム

玉川大学通信教育部と「小学校教員養成特別プログラム」に関する協定を結び，小学校教諭二種免許状取得の機会を設けています。本プログラム履修には，別に定める推薦基準を満たすこと，さらに在学中に中学校・高等学校教諭一種免許状の取得が必要です。また玉川大学通信教育部での履修費等が別途必要になります。詳細は，教職ガイダンス・教務課で確認してください。

教職課程に係るガイダンス等の案内はUNIPAでお知らせしますので，各自見落としがないよう十分注意してください。